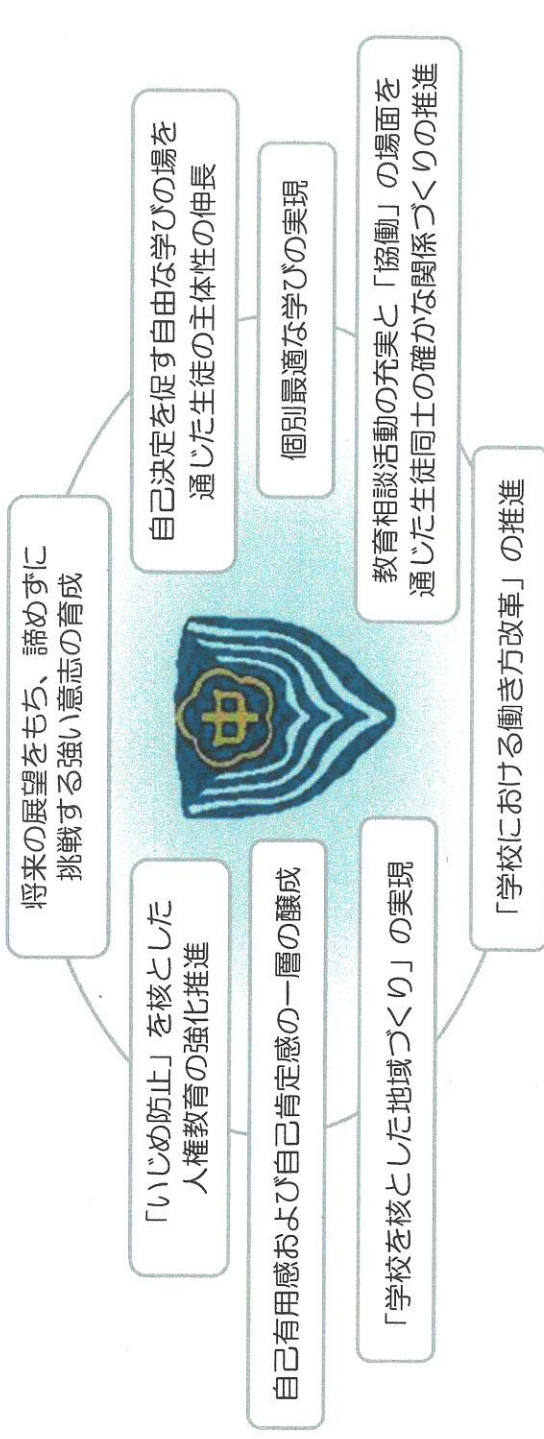


令和6年度 喜多見中がめざすもの

「キャリア・未来デザイン教育」を軸にした教育活動の展開



令和6年度 学校スローガン

「理想への挑戦」～ 今、そして未来へ ～

令和5年度：「協働」と「自己決定」を通じた「自分らしさ」の探究

令和4年度：「共感」「自律」「挑戦」

◎教職員の分掌組

経 営 支 援 部
教 務 部
生 活 指 導 部
キ ャ リ ア 教 育 部
教 育 相 談 部

めざす学校像：

「自分の子」を預けたい学校

※すべての教育活動にキャリア教育の糸を一本通します

(特に、特別活動では「ねらい」にキャリア教育のスパイスを効かす)

他者との協働や自己決定する場面を通じ、自分の良さ、自分らしさ、自己の可能性を認識させながら、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を育てます。※「生き方」教育を推進します。

◎ 「教師と子ども」、「子どもと子ども」、「学校と地域」の関係の強化

◎ 子どもを積極的に自立させる（“喜多見中生なら挑戦させられる”）

○ 未然予防型的生活指導体制（先手の指導、組織的な指導の徹底）

○ 繋がりの一貫性、合理性のある「仕掛け」や「意図」が明確な企画の展開

※ “教育効果” の確認と追求の徹底（無駄の精査）

○ 一斉一中のメリットを活かした、「学び舎連携」を展開

※ 「実効力の高い、安心感のある指導」の継続

○ 「保護者の理解や協力」の一層の獲得

これらの取り組みに向け、
特に「対話」を重んじます！

令和6年度年間行事予定表

世田谷区立喜多見中学校

2024. 4. 9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	月	水 内科健診(2・3) 心臓健診	土	月 全校朝礼	木	1 日	火 専門委員会	金 進路面談(3)	日	1 水 学校休業日	土	土	1	
2	火	木 中間考査	日	火 専門委員会	金	2 月	始業式 集団下校	土 開校記念日	月 三者面談	2 木 学校休業日	日	日	2	
3	水	金 憲法記念日	月	水 職員会議	土	3 火	学習習得確認調査(3) 専門委員会	木 中央委員会	火 文化の日	3 金 学校休業日	月 全校朝礼 学校公開開始	月 全校朝礼 卒業式練習始	3	
4	木	土 みどりの日	火	木 中央委員会	日	4 水		金	月 振替休業日	4 土	火 専門委員会	火 専門委員会	4	
5	金	日 こどもの日	水 世中研	金	月	5 木	中央委員会	土	火 新入生部活動体験	5 日	水 学習成果展覧会見学(1) プラネタリウム(E)	水 職員会議	5	
6	土	月 振替休業日	木	土	火	6 金		日	水 世中研(教科)	6 月	木 中央委員会	木 避難訓練	6	
7	日	火 運動会練習始	金 学校公開始	日	水	7 土	土曜授業日 セーフティ教室(1)	月 全校朝礼 合唱コンクール練習期間	土	7 火	金	金 中央委員会	7	
8	月	始業式・着任式	水 世中研	土 土曜授業日 学校公開終	月 生徒会朝礼	木	8 日	火	金 学校公開期間始	日	8 水 始業式 職員会議	土 土曜授業日 新入生保護者説明会 学校公開期間終	8 土	8
9	火	入学式	木 腎臓健診2次	日	火	9 月	時間割(B)始 生徒会朝礼	水 学年会	土 土曜授業日 新入生保護者説明会 学校公開期間終	9 月	木 全校朝礼	日	9	
10	水	新入生歓迎会	金 保護者会 部活動保護者会	月 全校朝礼	水	10 火		木 避難訓練	金	10 金	月 学習成果展覧会片付け	月 生徒会朝礼 プラネタリウム(3)	10	
11	木	土	火 専門委員会	木	日 山の日	11 水	学年会 移動教室事前健診	金 第2回進路説明会	月 全校朝礼	11 土	土 土曜授業日	火 建国記念日	11	
12	金	身体計測 専門委員会	日	水 世中研(領域)	金	12 木	中間考査	土	火	12 日	水 専門委員会	水 学び舎の日	12	
13	土	土曜授業日	月 全校朝礼 耳鼻科健診	木	土 土曜授業日 保護者引き取り訓練 第1回進路説明会	13 金	中間考査	日	水 期末考査	13 金	中央委員会	13 月 成人の日	13	
14	日	火 運動会予行準備	金 避難訓練 中央委員会	日	水 学校休業日	14 土		月 スポーツの日	木 期末考査	14 火	土 土曜授業日 道徳地区公開講座	14 火 専門委員会	14	
15	月	時間割(A)始 生徒会朝礼 中央委員会	水 運動会予行	土	月 海の日	15 日		火	金 期末考査	15 水	日 入試相談	15 土	15	
16	火	学習習得確認調査(全)	木 歯科健診	日	火	16 月	敬老の日	水	土	16 月	生徒会朝礼	16 日	16	
17	水	議案書討議	金 ⑤運動会全体練習 ⑥運動会準備 ⑦運動会予行	月 生徒会朝礼 いじめ防止プログラム(1)	水 通知表バツ切	17 火		木	日	17 金	中央委員会	月 生徒会朝礼	17	
18	木	全国学力学習状況説明会(3) 避難訓練	土 運動会	火 水泳指導事前健診	木 大掃除	18 水	学び舎の日	金 合唱コンクール準備	月 到達度テスト(3)	18 水	学年会	18 土	18	
19	金	専門委員会	日	水 学び舎の日	金 終業式	19 木	生徒会選挙	土 合唱コンクール	火 専門委員会	19 木	避難訓練	19 日	19	
20	土	月 振替休業日	木	土	火	20 金		日	水	20 月	生徒会朝礼	木	20	
21	日	火(運動会予備日1)	金	日	水	21 土		月 振替休業日	木 中央委員会	21 土	避難訓練	金 修立一次・分割前期入試	21	
22	月	全校朝礼 三者面談(1)	水(運動会予備日2)	土	月 三者面談(全) 補習教室	22 日	秋分の日	火	金 避難訓練	22 日	土	土	22	
23	火	三者面談(1) 胃腸健診1次	木 専門委員会	日	火 三者面談(全) 補習教室	23 月	振替休業日(2・3) 移動教室(1)	水 学び舎の日	土 勤労感謝の日	23 月	日 天皇誕生日	日	23	
24	水	三者面談(1) 内科健診(1・3)	金 中央委員会 避難訓練	月	水 三者面談(全) 補習教室	24 火	移動教室(1)	木	日 避難所開設訓練	24 火	大掃除	日 校外学習(2)	24	
25	木	三者面談(1) 眼科健診9:00~	土	火 期末考査	木 三者面談(全) 補習教室	25 水	移動教室(1) 職場体験(2)	金 学習習得確認調査(3)	月 時間割(C)始 生徒会朝礼	25 水	終業式	1 土 都立推薦入試	25 火	25
26	金	生徒総会	日	水 期末考査	金 三者面談(全) 補習教室	26 木	振替休業日(1) 職場体験(2)	土	火	26 木	木	2 土 都立推薦入試	26 水	26
27	土	月 生徒会朝礼	木 期末考査	土	火	27 金	職場体験(2)	日	水 進路会議(3)	27 金	金	3 木 学年末考査	27 木	27
28	日	火	金 到達度テスト(3)	日	水	28 土		月 進路面談(3)	木	28 土	金	4 木 学年末考査	28 金	28
29	月	昭和の日	水 修学旅行(3)	土	月	29 日		火 進路面談(3)	金 三者面談	29 月	学校休業日	5 土 職員会議	29 土	29
30	火	木 修学旅行(3)	日	火	金	30 月		水 進路面談(3)	土	30 月	学校休業日	6 日	30	
31		金 修学旅行(3)	水	水	土	31 日		木 進路面談(3)	金	31 火	学校休業日	7 月	31	
1年生	16	21	21	15		20	22	21	19	18	19	17		
2年生	17	21	21	15		20	22	21	19	18	19	17		
3年生	17	21	21	15		20	22	21	19	18	19	14		
1年生 1学期合計				73	1年生 2学期合計				82	1年生 3学期合計				
2年生 1学期合計				74	2年生 2学期合計				82	2年生 3学期合計				
3年生 1学期合計				74	3年生 2学期合計				82	3年生 3学期合計				
										1年生 合計				
										2年生 合計				
										3年生 合計				
										合計				

生徒の実態
・明るく素直である。
・自身の意見をはっきり主張することや集中力等に課題が見られる。
教員の願い
・何事にも意欲的で意志の強い生徒
・自他の生命を尊び、協調性をもつ生徒
地域の実情
・保護者の行事への関心が高く、協力的である。
・自治会等、地域とは特別活動を通じて交流している。

各教科
国語
文章作品などを通して人間としての生き方についての考えを深めるとともに思考力や表現力を育てる。
社会
社会的事象に関心をもち社会の変化に対応できる能力を育てるとともに、社会で必要な公民的資質の基礎を養う。
数学
数学的事象に関心をもち、数学的な見方、考え方のよさを知り、活用する能力を育てる。
理科
自然現象に関心をもち、グループによる実験、観察を通して、協力して生活する態度を育てる。
音楽
音楽に親しみ感性や表現する意欲を高めるとともに、それを生活にかす態度を育てる。
美術
美術に親しみ主体的に表現し創造する意欲を高めるとともに、それを生活にかす態度を育てる。
保健
運動の楽しさを通して健康の増進と体力の向上を図り、安全で健康に生活する能力を育てる。
技・家
日常の生活や技術について関心をもち、生活を支える向上させるために進んで工夫する能力を育てる。
英語
外国語を用いて積極的に他国の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。
日本語
相互に率直に表現し合い深く合うことを通じて、コミュニケーション能力、課題発見・解決力等の基礎を築き、「二」とばの力」を高める。

NIE(教育に新聞を)
新聞を教材として活用し、よりよい社会の形成に向かおうとする意欲を高める。

教育目標
①より深く学ぶ生徒を育てる
②勇気と思いやりをもつ生徒を育てる
③健康で明るい生徒を育てる

本校の特別活動の目標
学校・学級環境を整備し、学級活動や生徒会活動、学校行事、部活動などの活動を価値的に行うことで、心身の健康や良好な人間関係を保持・増進するとともに、人間としての生き方について自覚を深める。

特別活動の指導方針
【豊かな心の育成】
・豊かで充実した学校の生活体験を通して、教員と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係の醸成を図る。また、集団や社会の一員として互いに人格を尊重し合いながら協力して生きようとする態度を育てる。
【自発性、主体性の態度の育成】
・自治的な能力の伸長を図るため、諸活動における生徒の活動場面の設定を工夫する。
【たくましい心と身体育成】
・望ましい集団活動を通して、生徒の心身の健全な発達を図るとともに、自己を鍛錬しようとする自主的な態度を育てる。

本年度の指導の重点
・特に学校行事や生徒会活動、学級活動等では、「協働」と「自己決定」の場面を重んじ、生徒の主体性や自己を生かす能力の伸長を図る。
・学校行事や生徒会活動、学級活動等を通して、生徒同士の関係づくりを重視した指導を展開し、生徒の居場所や帰属意識を涵養するとともに、人間性や共生社会の基盤となるコミュニケーション能力を高め、社会参画の意識をもたせる。
・学校行事や生徒会活動の活性化を図り、生徒一人ひとりの個性を生かしながら、共に支え合い、向上しようとする実践力を育てる。
・社会の一員としての自覚と責任および自主的・実践的な態度を育成する。また、カリキュラム・マネジメントの視点で各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を図り、自己の生き方について考えを深めさせ

特別活動の各内容目標	
学級活動	・生徒一人一人が学級内の役割を分担し、話し合いや係活動などを通して、学級生活や学校生活の向上と発展に努める態度を育成する。 ・学習活動について個別的、継続的な指導を行い、主体的に学ぼうとする意欲や態度を育てるとともに、よりよい将来の生き方と適切な進路を選択する能力を育成する。
生徒会活動	・学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力活動、ボランティア活動などを通して、きまりの大切さを理解し、楽しく創造的な学校生活を築こうとする自発的・自治的な態度を育成する。
学校行事	・生徒の積極的な参画と協力をもとした集団活動を通して、学級・学年・学校への所属感を培う。 ・学校生活に望ましい変化や折り返しをつけて、学校生活を秩序や変化のある豊かなものにするとともに、心身の健全な発達を図る。 ・自然体験、社会体験を通して創造性や社会性を育成する。

教育課題
・「キャリアパスポート」を活用し、キャリア教育の基礎的・汎用的能力を発達段階に応じて育成する。
・情報教育を推進し、多くの情報から必要な情報を適切に取捨選択して、自ら正しい情報を発信する能力やリテラシー等を育成する。
・食育を推進し、食と心身の健康について自ら考え、実践する生徒の育成に努める。
・「人格の完成をめざして」を推進し、あいさつや思いやり、良心など自他を敬愛し、自立した個人として成長しようとする心と生活習慣を身に付ける支援をする。

学び舎・家庭・地域との連携
・学び舎の小学校との連携を密にし、交流活動、あいさつ運動、体験学習などの活動を通して、学び舎内の活動を推進する。
・地域の行事などへの積極的な参加をすすめるとともに、ボランティア活動や文化的活動の実践を通して、地域社会との連携を図り、地域社会の一員としての自覚を深めさせる。

・日本国憲法
・教育基本法、学校教育法
・学習指導要領
・世田谷区教育要領

生徒指導
・人間関係の醸成
・自発性、主体性を尊重した指導
・生徒理解
・関係機関との連携
・教育相談の活用
・社会とのかかわりを重視

道徳
・道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などが補充・深化・統合されるよう、様々な場面を通して道徳的価値について考えさせることで、道徳的実践力を育成する。また「考え、議論する道徳」を取り入れ、多様な道徳的価値観を育成する。

総合的な学習の時間
・課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育て、自発的に活動する意欲を高める。
・問題解決的な学習や探究する活動を通して、自己の生き方を考えることができる人間を育成する。

令和6年度 道德教育 全体計画

憲法・教育基本法・ 学校教育法・諸法規
学習指導要領・ 世田谷区教育要領
時代や社会の要請
・国際化、高齢化等の 社会変化への対応
・SDGsへの取り組み

学校の教育目標
人権尊重の精神を基調として、自ら考え、 自ら学び、主体的に生きる生徒の育成
1 より深く学ぶ生徒を育てる。
2 勇気と思いやりをもつ生徒を育てる。
3 健康で明るい生徒を育てる。

生徒の実態
・健康的で明るい
・素朴で素直
・思いやりがあり優しい
・自主性がやや弱く、 指示を待つ傾向がある。
保護者等関係者の願い
・思いやりのある子
・自主的に物事に取り 組む子

道德教育の重点目標
※学習指導要領より
・主体的な判断の基軸となる道徳的価値の意義と大切さを 理解する。
・自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考 え、生き方についての考えを深める。
・問題解決的、体験的な学習の中で議論や考えることで、 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付ける。
・自他の生命を尊び人権を尊重する心を育てる。
・感謝と思いやりやりの気持ちや仕事上の精神をもって積極的に 動しようとする生徒を育てる。

各教科における 道德教育の指導方針
国語
・文章を通して多様な 生き方を学ばせる。
・聞く態度を育てる。
・社会の課題に関心をもち 主体的に取り組む態度 を育てる。
数学
・問題解決を通して、先を 見通し、論理的に物事を 考える力を育てる。
理科
・実験観察を通して、 自ら課題解決する能力を 育てる。
・自然の摂理への関心を 高め、環境保護の精神 を育てる。
音楽
・表現活動や鑑賞を通して 音楽を愛し、生活を 豊かにする心を育てる。
美術
・作品の制作や鑑賞を 通して、美に感動し、 愛する心を養う。
保健 体育
・心身の健康をはかり、健 全な精神を育てる。
技術 家庭 科
・実習を通して、創意工夫 を凝らし、やり遂げる意欲を 育てる。
英語
・他国の言語を学ぶこと により異文化をグロー バルな視点で理解でき る生徒を育てる。
日本語
・教科「日本語」を通して、 「ことばの力」を重視 することにより、より よい生活習慣を身に付 けようとする道徳的な 実践力、資質を育てる。

各学年の重点目標			
第1学年	第2学年	第3学年	
自分自身について	自分自身について	自分自身について	
○望ましい生活習慣を 身に付けることの大 切さを自覚し、自 らを律し、生活を正 す。 【節度、節制】【自主、 自律、自由と責任】	○自分が決めた目標 をめざし、自分を つめ、自己の向上を 図る。 【希望と勇気、克己と 強い意志】【向上心、 個性の伸長】	○より高い目標に向 かってねばり強く取 り組み、理想の実現 をめざす。 【自主、自律、自由と 責任】【希望と勇気、 克己と強い意志】	
他のか の人の かわり	○助け合いの精神を 重んじ、生活を支え ている人への感謝の 気持ちをもち、 【思いやり、感謝】	○相手の立場に立つ て、お互いのよさを 認め、励まし合い、 高め合う。 【思いやり、感謝】 【友情、信頼】【相互 理解、寛容】	
他のか の人の かわり	○法やまじりの意義 を理解し、集団の一 員としての役割と責 任を果たす。 【遵法精神、公徳心】 【よりよい学校生活、 集団生活の充実】	○社会連帯の自覚を 深め、差別や偏見を なくし、よりよい社 会の実現をめざす。 【社会参画、公共の精 神】【公正、公平、社 会正義】	
自然や 社会 のかわり	○身近な自然と触れ 合い、生命のつなが りを自覚して、生命 を尊重する心をも つ。 【生命の尊さ】【自然愛 護】	○心の弱さや脆さを 克服して、自分に恥 ない生き方をす る。 【よりよく生きる書 び】	

特別活動における 道德教育の指導の方針
A 学級活動
・一人一人が自己の役割 を認識し、協力し合う 態度を養う。
B 生徒会活動
・活動の企画、実施を 行う中で、自主・自律 の精神を養う。
C 学校行事
・集団での活動場面での 体験を通して、協調性 を養うと共に、感動を 体験することによって 豊かな心性を育成する。
総合的な学習の時間における 道德教育の指導の方針
・地域社会との連携を図り、 地域行事への積極的な 参加を行い、体験を 通して感動を味わわせ、 豊かな心を育成する。
体験的活動等における 道德教育の指導の方針
・ボランティア活動や生 徒会活動などを通し て、集団や社会の中で の役割や達成する満足 を実感する体験になるよ う留意する。

道德の時間の指導の方針
・自ら考える道徳、議論する道徳のための設問、教材の工夫
・生徒が、おらいうとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かにいきいきと表 現して、よりよく生きようとする意欲を自ら育もうとする時間をめざす。
・物事を、広い視野から多面的・多角的に考えるための工夫
・多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫
・全学年を通して指導する時期や内容を決め、生活指導と関連した全学的な道徳指導を 行う。

連携の方針
・家庭向けの各種「通信」 発行と、行事・道徳授業 への保護者の参加等 の交流を活発に行う。
・体験活動や行事への地 域の方々の参加、道徳 授業への人材の参加等 によって交流を深め、 協力体制の確立を図る。

学級・学校環境の 充実・整備
・人権に関する図 書の充実を図る。
・体験活動の発表、 報告等道徳教育 に資する展示物 を掲示する。

評価の方針
・生徒の人間性、道徳的な成長を見守り、共感的な理解に基づいて励ましていく
・生徒自身が自らの道徳性の成長に気づき、成長を実感させる
・さらに意欲的に取り組もうとするきっかけとなるようにする

令和6年度 特別の教科道徳 年間指導計画 1年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
4月	【C(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】	文化祭の活動でさまざまな立場や考え方が描かれた教材を通して, それぞれの問題点, リーダー, フォロワーにとって大切なことについて考えさせ, 役割と責任を自覚し, 協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。	★集団での活動を充実させるためには, どんなことが大切なのだろう。 1 これまでに, 集団で充実した活動ができた経験を振り返る。 2 「みんなで成功させよう」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	10 みんなで成功させよう		
	【内容項目を限定しない】 1 道徳の授業を始めよう!	道徳で何を学ぶのか, どのように学ぶのかについて考えさせながら, 1年間の道徳の学びの見通しをもたせ, これからの学びを広げたり, 深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳の時間の中で, 特に考えたいことや学びたいことは, 何だろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「道徳で何を学ぶのか」「どうやって学ぶのか」を考え, 道徳授業の見通しをもつ。 3 「学びの記録」に記入する。
5月	【B(6)思いやり, 感謝】 13 父の言葉	黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して, 他者への思いやりについて考えさせ, 思いやりのある行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★相手のことを考えて行動するときには大切なことは, 何だろう。 1 親切にしたいと思ったのに, できなかったことはないかを振り返る。 2 「父の言葉」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8)友情, 信頼】 25 親友	異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して, 性別等にとらわれない友情関係や信頼関係について考えさせ, 友達を大切にしていこうとする心情を育てる。	★友達を大切にすることは, どういうことだろう。 1 自分にとって, 友情とは何かを考える。 2 「親友」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
6月	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 6 魚の涙	魚類学者でタレントのさかなクンが著した文章を通して, いじめが起こらない社会をつくるために大切なことについて考えさせ, 差別や偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★いじめが起こらない社会をつくるために大切なことは, 何だろう。 1 さかなクンを紹介する。 2 「魚の涙」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 6 深めたいむ	いじめをなくすために大切なことは何かを考えさせ, 自分の良さを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★いじめをなくすために大切なことは何か, 考えよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」を読み, 活動する。 3 「学びの記録」に記入する。
7月	【A(3)向上心, 個性の伸長】 28 カメは自分を知っていた	百人一首大会でライバル関係にある生徒たちの物語を通して, 自己を知り, 向上心をもって物事に取り組む姿勢について考えさせ, 自分のよさを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分のよさを伸ばすために大切なことは, 何だろう。 1 自分のよさは何かを考える。 2 「カメは自分を知っていた」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 11 ひまわり	東日本大震災, 阪神・淡路大震災を巡る実話を通して, 生命の尊さについて考えさせ, 自他の命を大切にしていこうとする心情を育てる。	★人は, どうして「命の尊さ」を感じるのだろう。 1 東日本大震災について, 知っていることを出し合う。 2 「ひまわり」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(10)遵法精神, 公徳心】 18 仏の銀蔵	高利貸しの男と金銭を借りている人々の昔話を通して, 法やきまりを守ることの意義について考えさせ, それらを大切に生活しようとする心情を育てる。	★法やきまりを守ることの意義について, 考えよう。 1 「高利貸し」と「証文」の意味を確認する。 2 「仏の銀蔵」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(12)社会参画, 公共の精神】 16 紙芝居	ボランティアで紙芝居を上演することになった生徒たちの物語を通して, 社会に積極的に関わっていくことの大切さについて考えさせ, 社会的な役割を果たし, 自ら協力していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★社会に積極的に関わっていくことで見えてくるのは, 何だろう。 1 ボランティア活動についての考えやイメージを共有する。 2 「紙芝居」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
9月	【C(18)国際理解, 国際貢献】 23 異文化の人々と共に生きる	日本人と外国の人との間に生じたギャップを巡る事例を通して, 異なる文化をもつ人どうしが共生していくために大切なことについて考えさせ, 異文化を尊重し, 理解し合おうとするための判断力を育てる。	★異なる文化をもつ人々と共に生きていくために大切なことは, 何だろう。 1 外国の人と関わった経験を振り返る。 2 「異文化の人々と共に生きる」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
10月	【A(2) 節度、節制】 4 「養生訓」より	貝原益軒の「養生訓」を取り上げた漫画を通して、健康な毎日を送るために節度や節制を心がけて生活することの大切さについて考えさせ、心と体の健康に気をつけて生活していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★健康に毎日を送るために大切なことは、どんなことだろう。 1 毎日を健康に過ごしているかを振り返る。 2 『「養生訓」より』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(6) 思いやり、感謝】 35 橋の上のおおかみ	意地悪な行いをしていたおおかみが、自らの行動を改める物語を通して、思いやりについて考えさせ、相手の立場に立って行動しようとする心情を育てる。 小学校で既習の物語であり、自らの考え方の変化や成長を確認することができる。	★思いやりの心について、考えを深めよう。 1 小学生のときに「思いやり」について学んだことを振り返る。 2 「橋の上のおおかみ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(13) 勤労】 17 私が働く理由	がん患者専門の美容師や靴磨き職人など、さまざまな職業に就いている人々の仕事への思いや考え方などを知り、働くことの意義や喜びについて考えさせ、自らも充実した働き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。	★人が「働く」理由とは、どういうものだろう。 1 「自分の働く理由」のアンケート結果から、働く理由について考える。 2 「私が働く理由」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1) 自主、自律、自由と責任】 12 裏庭での出来事	友達に判断に流されたうえに、ガラスを割ったことを責任転嫁してしまったことに悩む生徒の姿を通して、自分の行動に責任をもつことについて考えさせ、自ら考え、行動したことに責任をもつための判断力を育てる。	★自分の行動に責任をもつとは、どういうことだろう。 1 自分の行動に無責任になった経験を振り返る。 2 「裏庭での出来事」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実】 34 初めての伴奏	合唱コンクールの練習をする生徒たちの物語を通して、クラスで何かを成し遂げるときに大切なことについて考えさせ、よりよい学校生活を自らつくっていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★クラスで何かを成し遂げるときに大切なことは、何だろう。 1 クラスで取り組んできた行事を振り返る。 2 「初めての伴奏」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
11月	【C(10) 遵法精神、公徳心】 33 雨の日の昇降口	急な雨の際、他人の傘を無断で借用してよいかどうかで迷う生徒の物語を通して、きまりを守ることの大切さや公徳心について考えさせ、住みよい社会にするために、公徳心をもって生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	★住みよい社会を実現するために大切なことは、どんな心だろう。 1 友達からよくないことを勧められた経験を振り返る。 2 「雨の日の昇降口」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11) 公正、公平、社会正義】 27 やっぱり樹里は	不公正な場面を見すごさず、偏見や差別のない態度を取った生徒を描いた物語を通して、正義や公正さについて考えさせ、公正、公平に行動することで、よりよい集団や社会を形成していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★正義や公正さについて、考えよう。 1 不公正や不公平を感じても、何もせずに済ませてしまった経験がないかを振り返る。 2 「やっぱり樹里は」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(7) 礼儀】 14 学習机	お客さまを相手にトラブルを起こした新入社員の「私」が、自分の考えを改めていく姿を通して、人と関わるときに大切な礼儀の心について考えさせ、相手を敬い、時と場に応じた行動を取ろうとする心情を育てる。	★人と関わるときに大切な礼儀の心とは、どんなものだろう。 1 礼儀について、今の自分の考えを出し合う。 2 「学習机」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19) 生命の尊さ】 20 捨てられた悲しみ	犬猫に関する環境省の調査資料、日本動物愛護協会のペット飼育に関するポスター、犬猫の殺処分を行う施設の職員の仕事を追った文章と写真を通して、生命を尊ぶことについて考えさせ、生き物の命を大切にしていこうとする心情を育てる。	★身近な生き物の命について、考えよう。 1 動物の命と触れ合った経験を振り返る。 2 「捨てられた悲しみ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(9) 相互理解、寛容】 15 言葉の向こうに	SNS上でのトラブルについて描かれた教材を通して、異なる立場の者どうしのコミュニケーションの取り方や寛容さについて考えさせ、他者の思いや立場を考えて行動する実践意欲と態度を育てる。	★立場の違う人と関わるときに大切なことは、何だろう 1 インターネット上での書き込みの経験について振り返る。 2 「言葉の向こうに」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
12月	【D(20) 自然愛護】 21 「ソーセージ」の悲しい最後	観光客の身勝手な餌やりが原因で駆除されてしまったヒグマのエピソードを通して、人と自然がよりよい関係を築くために必要なことについて考えさせ、自然を尊重し、進んで自然を愛護しようとするための判断力を育てる。	★人と自然がよりよい関係を築くためには、どんな考えが必要だろう。 1 野生動物に関する自分の経験を振り返る。 2 『「ソーセージ」の悲しい最後』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(21) 感動、畏敬の念】 29 命の木	屋久島の原生林の様子を描いた文章を通して、人はどうして感動するのかについて考えさせ、自然などの美しさや人の力を超えたものに心を動かされることを大切にしようとする心情を育てる。	★人は、どうして感動するのだろうか。 1 自然に対して感動した経験を想起する。 2 「命の木」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」	家族の在り方について考えさせ、家族への愛情をもち、家庭生活を充実させていこうとする心情を育てる。	★家族愛、家庭生活の充実とは、どういうことだろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「三百六十五×十四回分の「ありがとう」」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 19 なおしもん	重要無形文化財の輪島塗に関する文章を通して、郷土に根ざした伝統と文化を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★郷土の伝統や文化を大切にすることは、どういうことだろう。 1 自分たちが暮らす地域の伝統や文化について思いつくものを発表する。 2 「なおしもん」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 22 日本のお米	米や稲が日本の食文化や自然環境を支えてきたことを説明した文章を通して、伝統的な農業や文化を引き継いでいくことの大切さについて考えさせ、自分にできることをしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★昔の日本人が大切にしてきた伝統や文化に対して私たちができるのはどんなことだろう。 1 日本の伝統文化について考える。 2 「日本のお米」を読み、お米と日本人との関わりを知る。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 30 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた文章と写真を通して、尊厳ある生と死の在り方について考えさせ、命を大切に生きていこうとする心情を育てる。	★「生きる」とは、どういうことだろう。 1 自分と祖父母との関わりを振り返る。 2 「エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
1月	【A(1)自主、自律、自由と責任】 2 自分で決めるって？	自主、自立の意識をもつことの大切さについて考えさせ、自分の責任で物事を決定しようとする判断力を育てる。	★「自主、自立の意識」とは、どういうことだろう。 1 今までの自分について振り返る。 2 「自分で決めるって？」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
2月	【D(22)よりよく生きる喜び】 26 銀色のシャープペンシル	友達のリシャープペンシルを拾って自分のものにしてしまったことを言いだせなかった主人公の姿を通して、心の弱さを乗り越えさせるものとは何かについて考えさせ、自分も弱さを乗り越えて生きていこうとする心情を育てる。	★心の弱さを乗り越えさせるものとは、何だろう。 1 これまでの自分の経験を振り返る。 2 「銀色のシャープペンシル」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 7 私の話を聞いてね	右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して、自他の個性や立場を尊重し合って生きることの大切さについて考えさせ、違いを認め合っていこうとする心情を育てる。	★人と人とがわかり合うために大切なことは、何だろう。 1 誰かと価値観や考え方が違うと感じたことがあるかを振り返る。 2 「私の話を聞いてね」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8)友情、信頼】 32 いちばん高い値段の絵	画家のミレーとルソーとの関係を描いた物語から、友達とはどんな存在かについて考えさせ、友達と信頼関係を築いていこうとする心情を育てる。	★友達とは、どんな存在なのだろう。 1 友達と、日々どのように過ごしているかを振り返る。 2 「いちばん高い値段の絵」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
3月	【B(6)思いやり、感謝】 9 席を譲ったけれど	中学生が高齢者に電車で席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その反響を通して、思いやりや感謝の心を育てることについて考えさせ、他者に思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。	★思いやりや感謝の心を育てていくために大切なことは、何だろう。 1 「思いやり」についての考えを出し合う。 2 「席を譲ったけれど」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)節度、節制】 5 夢を諦めない	夢や目標をもつことの大切さについて考えさせ、目標に向かい、夢と希望をもって着実にやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	★夢や目標をもつことが大切なのは、なぜだろう。 1 自分の夢や目標について考える。 2 「夢を諦めない」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(5)真理の探究、創造】 8 六十二枚の天気図	夏休みの宿題に取り組むことをきっかけに主体的に天気について調べ始めた生徒の姿を通して、真理を探究していくのに大切なことについて考えさせ、疑問やわからないことを探究し続けようとする実践意欲と態度を育てる。	★真理を探究していくのに大切なことは、何だろう。 1 これまでに、何かを知りたい、追究したいと思った経験を出し合う。 2 「六十二枚の天気図」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(22)よりよく生きる喜び】 24 撮れなかった一枚の写真	フォト・ジャーナリストの吉田レイ子さんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を記した文章を通して、ヒューマニズムや職業観について考えさせ、人としての自分を知り、自分らしく生きていこうとする心情を育てる。	★人としてよりよく生きるとは、どういうことだろう。 1 「よりよく生きる」とはどういうことか、具体的に考えてみる。 2 「撮れなかった一枚の写真」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

令和6年度 特別の教科道徳 年間指導計画 2年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の授業を始めよう！	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのか、なぜ学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「道徳で何を学ぶのか」「どうやって学ぶのか」を考え、道徳授業の見通しをもつ。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 2 テニス部の危機	テニス部の活動方針を巡って対立した生徒の話を通して、集団の一員として、よりよくあるために大切なことを考えさせ、集団生活を充実させていくための判断力を育てる。	★集団の一員として、よりよくあるために大切なことは、何だろう。 1 自分の所属する集団の、自分にとっての意義や目標について考える。 2 「テニス部の危機」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 3 カラカラカラ	電車の中で転がる空き缶を拾うか迷う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、判断し、誠実に実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	★自ら考えて行動するとは、どういうことだろう。 1 よいことをしようと思っていたのにできなかった経験を話し合う。 2 「カラカラカラ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
5月	【B(9)相互理解、寛容】 4 ジコチュウ	クラスメートの言動を自己中心的だと誤解した生徒の物語を通して、考えや立場の違いを尊重し合うためにどんなことが大切なのかを考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする実践意欲と態度を育てる。	★考え方や立場の違いを尊重し合うためには、どんなことが大切なのだろう。 1 「ジコチュウ」という言葉をどのような場面で相手に使っているかを振り返る。 2 「ジコチュウ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8)友情、信頼】 5 松葉づえ	松葉づえを突いている転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「友情」とはどういうものかを考えさせ、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。	★「友情」とは、どういうものだろう。 1 友達がいなかったと思った経験を出し合う。 2 「松葉づえ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(12)社会参画、公共の精神】 6 消防団	消防団に参加することで地域社会に貢献している巻出さんの姿を通して、地域のために活動することについて考えさせ、自分の地域や社会に積極的に関わっていこうとする心情を育てる。	★社会の一員として地域や社会に関わっていくには、どのような思いが大切だろう。 1 地域貢献についての考えを出し合う。 2 「消防団」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
6月	【C(11)公正、公平、社会正義】 7 明日、みんなで着よう	「ピンクシャツデー」といういじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切だろう。 1 「ピンクシャツデー」について紹介する。 2 「明日、みんなで着よう」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正、公平、社会正義】 7 深めたいむ		★「いじめ」をなくすために大切なことは何か、考えよう。 1 前時の学びを振り返るとともに、「いじり」と「いじめ」を比較して考える。 2 「深めたいむ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 8 命が生まれるそのときに	詩「いのちの音」と、出産を撮影するフォトグラファーの文章や写真を通して、「生きている」ことの尊さについて考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。	★「生きている」ことの尊さについて、考えよう。 1 生きていると感じるのはどんなときかを考える。 2 「命が生まれるそのときに」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 9 許せないよね	インターネットへの匿名の書き込みから行き違いが生じてしまう物語を通して、自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせ、物事を自律的に実行して、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。	★責任ある行動とは、どのようなものだろう。 1 自分の言動に責任をもった生活をしているかを振り返る。 2 「許せないよね」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
7月	【D(22)よりよく生きる喜び】 10 あと一歩だけ、前に	スガシカオさんの曲の歌詞を通して、自分を見つめ、人として生きていくことがどういうことなのかを考えさせ、弱さや醜さを克服してよりよく生きていこうとする心情を育てる。	★自分を見つめ、生きることにについて、考えよう。 1 自分の心に寄り添う歌について思い起こす。 2 「あと一歩だけ、前に」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 11 異なり記念日	「異なり記念日」に込めた筆者の家族に対する思いを通して、温かい信頼関係や愛情のある「家族の在り方」について考え、家族の一員としての自覚をもって積極的に関わり、よりよい家族関係を築いていこうとする心情を養う。	★「異なり記念日」を読んで、家族のつながりについて、考えよう。 1 自らの考える家族のよさについて振り返る。 2 「異なり記念日」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
9月	【A(2)節度、節制】 12 夢中になるのは悪いこと?	中高生を対象とした自由時間についての調査や、ネットゲームへの依存に関する新聞記事を通して、望ましい生活習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	★望ましい生活習慣について、考えよう。 1 自分の自由な時間について振り返る。 2 「夢中になるのは悪いこと?」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(2)節度、節制】 12 深めたいむ		★携帯電話やスマートフォンを使うときには、どんな心構えが必要だろう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」の4コマ漫画を見て考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(7)礼儀】 13 秀さんの心	職場体験で、職人の礼儀にふれた二人の生徒の物語を通して、礼儀の意味について考えさせ、心の籠もった適切な言動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。	★礼儀には、どのような意味があるのだろう。 1 職場体験の礼儀について考える。 2 「秀さんの心」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(13)勤労】 14 段ボールベッドへの思い	災害の避難者の健康を考えて段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公表した会社の人の話を通して、人にとって働くことにはどんな意味があるのかを考えさせ、人や社会のために働こうとする実践意欲と態度を育てる。	★働くことには、どんな意味があるのだろう。 1 人は何のために働くのか、これまでに考えてきたことを振り返る。 2 「段ボールベッドへの思い」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
10月	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 15 一枚の布から	夏祭りや父のゆかたを着ることになったことをきっかけに、日本の伝統文化である和服について興味をもった話を通して、伝統や文化のよさについて考えさせ、それらを継承していこうとする心情を育てる。	★伝統を受け継ぐとは、どういうことだろう。 1 日本の伝統や文化といえば何を思い浮かべますか。 2 「一枚の布から」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	なんだろう なんだろう 「ゆるす」って、なんだろう。 【関連する内容項目】B(6)思いやり、感謝 B(9)相互理解、寛容		家庭学習や朝の読書の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「ゆるす」とは何なのか、考えてみる。
	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 16 私の町	新潟県村上市の、郷土の祭りや町並みなどに対する生徒の思いを通して、故郷を思う心について考えさせ、郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする実践意欲と態度を育てる。	★ふるさとを思う心について、考えよう。 1 自分の住む地域の特色や地域行事などについて考える。 2 「私の町」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(5)真理の探究、創造】 17 スカイツリーにかけた夢	東京スカイツリーの設計士の、物事を追求する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせ、真理を探究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てる。	★新しいものを生み出していくときに大切なことは、何だろう。 1 スカイツリーについて、知っていることを出し合う。 2 「スカイツリーにかけた夢」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
11月	【C(10)遵法精神、公德心】 18 民主主義と多数決の近くて遠い関係	「好きな案」と「みんなにとって望ましい案」をどう捉えるかについての説明文を通して、集団や社会の中で合意形成するとき、大切にすべきことについて考えさせ、法を遵守し、公德を重んじようとする判断力を育てる。	★集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは、何だろう。 1 クラスで何かを決定するときに、どんな方法で決定しているかを思い起こす。 2 「民主主義と多数決の近くて遠い関係」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(10)遵法精神、公德心】 18 深めたいむ		★複数の人と話し合って何かを決めることの意義や効果について、考えを深めよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」を読み、活動する。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 19 「桃太郎」の鬼退治	昔話の「桃太郎」と、鬼の子供の立場から桃太郎を捉えた詩を通して、考え方や立場の異なる者どうしが理解し合うことについて考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする心情を育てる。	★異なる考え方や立場の人どうしが理解し合うには、どうすればよいのだろう。 1 考え方が異なることで、誰かと対立した経験を想起させる。 2 『「桃太郎」の鬼退治』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(18)国際理解、国際貢献】 20 むこう岸には	川の兩岸に住む肌の色や髪の色、服装が異なる少女と少年の物語を描いた文章を通して、他国の人々や文化を理解するとともに、互いに尊重し合い、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	★他国の人と理解し合うために大切なのは、どんな心だろう。 1 差別や偏見の意識について共有する。 2 「むこう岸には」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(20)自然愛護】 21 僕の職場は富士山です	富士山のガイドをする近藤光一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して、自然を守るために大切なことについて考えさせ、自然を愛し守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自然を守るとは、どういうことだろう。 1 富士山に対するイメージや自然からもたらされる恵みについて共有する。 2 「僕の職場は富士山です」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
12月	【D(21)感動,畏敬の念】 22 宇宙の始まりに思いを寄せて	天文学者の大内正己さんが、新しい天体を発見したときの思いや、宇宙との出会いについて述べた文章を通して、「感動する心」を見つめさせ、自然や崇高なものに対して感動する心を大切に生きていく心育を育てる。	★「感動する心」を見つめよう。 1 ヒミコの想像図を見て、感想を出し合う。 2 「宇宙の始まりに思いを寄せて」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 23 つながる命	脳死となった女兒の両親が、女兒の臓器提供を決断したことを取り上げた新聞記事を通して、「命」について考えさせ、生命を尊重しようとする心育を育てる。	★「命」とは、どういうものだろう。 1 臓器移植について確認する。 2 「つながる命」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(3)向上心,個性の伸長】 24 優しさの光線	将来の夢が見えず、自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して、自分の「よさ」について考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする心育を育てる。	★自分の「よさ」を見つめよう。 1 将来について考えたときのことを振り返る。 2 「優しさの光線」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
1月	【D(22)よりよく生きる喜び】 25 人って、本当は?	孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して、人のもつ強さや弱さ、自分のよりよく生きる道について考えさせ、よりよく生きていくこととする実践意欲と態度を育てる。	★人のもつ強さや弱さを考えながら、自分のよりよく生きる道について、考えよう。 1 人間の心には、どんな面があるかを考える。 2 「人って、本当は？」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気,克己と強い意志】 26 夢の力	困難を乗り越えながら、次々に夢をかなえていった二條実穂選手の文章を通して、今の自分と向き合い、夢や目標の達成に向け、希望と強い意志をもって、生きていく実践意欲と態度を育てる。	★夢をもつことは、人生を、どう変えていくのだろうか。 1 どのような夢や目標があるかを振り返る。 2 「夢の力」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気,克己と強い意志】 26 深めたいむ		★目標を達成するために大切なことについて、考えよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」(教科書P.139)を読む。 3 「学びの記録」に記入する。
2月	【A(3)向上心,個性の伸長】 27 嫌われるのを恐れる気持ち	他人に嫌われることを恐れ、本心を表に出せないことに悩む生徒の相談を通して、いろいろなものの見方や考え方を理解しながら、自らを高めていくことの大切さについて考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする判断力を育てる。	★自らを高めていく生き方とは、どんな生き方だろう。 1 自分の性格を嫌だと思ったことがあるか、どんなところが嫌かを振り返る。 2 「嫌われるのを恐れる気持ち」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり,感謝】 28 気づかなかったこと	人々の嫌な面ばかりを見ていた生徒が、周りにあふれる思いやりに気づく姿を描いた漫画を通して、日々の生活で人と接するとき大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもち、行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★日々の生活で、人と接するとき大切なことは、何だろう。 1 人の悪いところに目が向いてしまうときについて考える。 2 「気づかなかったこと」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正,公平,社会正義】 29 クロスプレー	草野球の審判を引き受けた警官と子供たちとのやり取りを描いた物語を通して、公正な心をもつことの大切さについて考えさせ、正義と公正、公平さを重んじようとする心育を育てる。	★公正な心をもつとは、どういうことだろう。 1 公正な行動ができているか、普段の生活を振り返る。 2 「クロスプレー」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
3月	【D(19)生命の尊さ】 30 泣きすぎてはいけない	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、生命を尊重しようとする心育を育てる。	★「生きる」ということについて、考えよう。 1 「生きる」とはどういうことかを考える。 2 「泣きすぎてはいけない」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【内容項目を限定しない】 31 道徳の学びを振り返ろう	「1 道徳の授業を始めよう!」や「学びの記録」を見て1年間の道徳授業を振り返り、これからの生き方を見つめ、伏野さんの「自分のルール」を参考に自分でもルール作りをする活動を通して、自分を見つめ、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の学びを振り返り、「自分のルール」を作ろう。 1 本時の目的を確認する。 2 1年間の学びを振り返り、自分のルールを作る。 3 「学びの記録」に記入する。

令和6年度 特別の教科道徳 年間指導計画 3年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の授業を始めよう！	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのか、なぜ学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「道徳で何を学ぶのか」「どうやって学ぶのか」を考え、道徳授業の見通しをもつ。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(7)礼儀】 2 礼儀正しさとは	礼儀正しい言葉遣いやしぐさを書き出したり、柔道・大野将平選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しい行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。	★礼儀の意味を考えよう。 1 日常生活にある「礼儀正しい姿」を、マップに書き出し、思い起こす。 2 「礼儀正しさとは」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり、感謝】 3 背番号10	挫折を乗り越えて野球部のキャプテンとしての役割を果たす「僕」の物語を通して、自分と周りの人々がどのような思いで関わっているのかを考えさせ、思いやりや感謝の念をもって他者に向き合おうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分と自分を取り巻く人々とは、どのような思いで関わっているのかについて、考えよう。 1 自分が下級生のときの、部活動や委員会などの先輩について想起する。 2 「背番号10」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
5月	【C(10)遵法精神、公德心】 4 二通の手紙	規則より自分の思いを優先させたために起こったトラブルを描いた物語を通して、規則は何のためにあるのかを考えさせ、規則を守って行動しようとする判断力を育てる。	★規則は、何のためにあるのだろう。 1 社会や学校など、自分たちの周りにある規則について考える。 2 「二通の手紙」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 5 あの日 生まれた命	東日本大震災の被災者への支援プロジェクトを巡る実話を通して、命の尊さについて考えさせ、自他の生命を尊ぶ心情を育む。	★「命の尊さ」について、考えよう。 1 東日本大震災について当時の様子を振り返る。 2 「あの日 生まれた命」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 6 三年目の「ごめんね」	修学旅行中、周囲になじめない同級生に一度は声をかけ、いっしょに行動し始めたものの、友人の目を気にして声をかけるのをやめた主人公の姿を通して、自分で考え誠実に行動するとはどういうことかについて考えさせ、誠実で責任ある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分で考え誠実に行動するとは、どういうことだろう。 1 「誠実」の意味を考え、自分の経験を振り返る。 2 「三年目の『ごめんね』」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正、公平、社会正義】 7 小さな出来事	過去に自分が行った不公正な振る舞いを回想する人物を描いた魯迅の小説を通して、誰に対しても公平に接するためにはどんな考え方が必要かを考えさせ、公正、公平な社会を築いていこうとする心情を育てる。	★誰に対しても公平に接するためには、どんな考え方が必要だろう。 1 公正、公平に行動できなかった経験を振り返る。 2 「小さな出来事」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
6月	【C(13)勤労】 8 「リクエスト食」を支える	末期がん患者が過ごすホスピスで、「リクエスト食」の取り組みに携わる管理栄養士と調理師の姿を通して、「働く」ことの意味について考えさせ、他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようとする心情を育てる。	★働くことの意味について、考えよう。 1 人はどうして働くのか、これまでの経験を振り返って、考えを出し合う。 2 「『リクエスト食』を支える」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり、感謝】 32 出会いの輝き	留学時代の恩師や仲間との交流を回想した今道友信さんの随筆から、人と人とのつながりについて考えさせ、思いやりや感謝の気持ちをもって生きていこうとする心情を育てる。	★「いい思い出」とは、人々のどんな思いでできているのだろう。 1 自分の心に残る、人との出合いを想起させ、人と人とのつながりがあることを確認する。 2 「出会いの輝き」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 33 アイツとオレ	対照的な性格の二人の生徒の対話を描いた漫画を通して、人とわかり合うことはなぜ必要なのかを考えさせ、他者と相互に理解し合い、高め合おうとする心情を育てる。	★人とわかり合うために必要なことは、何だろう。 1 自分のことを理解してもらっていると思う経験を想起する。 2 「アイツとオレ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(21)感動、畏敬の念】 9 サグラダ・ファミリア—受け継がれていく思い—	サグラダ・ファミリアの建設に携わる人々に関する文章を通して、人間の力を越えたものや時を超えてつながる思いを深く考えさせ、美しいものや気高いものを感じ取る心情を育む。	★時を超えてつながる思いを見つめよう。 1 サグラダ・ファミリアについて知る。 2 「サグラダ・ファミリア—受け継がれていく思い」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
7月	【A(5)真理の探究、創造】 10 鉄腕アトムをつくりたい—人工知能研究は人間探究—	筆者の人工知能研究にける思いをつづった文章を通して、知的好奇心をもって真理を探究することのおもしろさと可能性について考えさせ、積極的に学び、工夫して新しいものを創造していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★真理を探究する心について、考えよう。 1 「人工知能」について意見交換をする。 2 「鉄腕アトムをつくりたい—人工知能研究は人間探究」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
9月	【A(3)向上心, 個性の伸長】 11 がんばれ おまえ	体面を繕うあまり, 内心に不安を抱える生徒を描いた物語を通して, 「自分」について考えさせ, 自己を見つめ, 充実した生き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。	★「自分」を見つめよう。 1 これまでの「自分」を振り返る。 2 「がんばれ おまえ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8)友情, 信頼】 12 私がピンク色の キャップをかぶるわけ	水泳の全国大会を目ざす生徒とそのライバルとの交流を描いた生徒作品を通して, 友達の存在について考えさせ, 深い友情や信頼関係を築いていこうとする心情を育てる。	★友達とは, どんなものだろう。 1 「友達」や「親友」の意味について共通理解する。 2 「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解, 寛容】 13 ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞	「ソーシャル・ビュー」の活動が大切にしていることを通して, 違う個性があることによって生まれてくる豊かさやおもしろさについて考え, 人間が相互に個性や立場を尊重し合いながらよりよく共生していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★社会で他者と共に生きていくためには, どんなことが大切なのだろう。 1 「共生」という言葉に対する自分のイメージを明らかにする。 2 「ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 14 命の選択	祖父の意思に反して延命措置を施すことについて葛藤する家族の姿を描いた文章と, 尊厳死に対する複数の立場からの新聞投稿を通して, 命について多面的・多角的に考えさせ, 生命を尊ぶ心情を育てる。	★「命」について, 考えよう。 1 もし余命があと少しだとわかったら, 自分はどう生きたいかを出し合う。 2 「命の選択」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(12)社会参画, 公共の精神】 15 一票を投じることの意味	選挙に関心をもち始めた生徒を描いた物語と, 選挙の意味について書かれた説明文を通して, よりよい社会を実現するために大切なことについて考えさせ, 社会や公共の問題に目を向け, 参画していくための判断力を育てる。	★よりよい社会を実現するために, 大切なことは何だろう。 1 自分が18歳になったら選挙に行くかどうか, 考えを出し合う。 2 「一票を投じることの意味」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
10月	【C(10)遵法精神, 公德心】 16 闇の中の炎	既存の芸術作品を参考にして自分の作品を描いたことに後ろめたさを感じている生徒の物語を通して, 法やきまりを守ろうとする心について考えさせ, 規則を守って行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	★法やきまりを守る心の源とは, 何だろう。 1 後ろめたさを感じた経験を想起し, 自分の行動をどのように決めてきたか, 振り返る。 2 「闇の中の炎」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 17 ぼくの物語 あなたの物語	黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して, 差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考えさせ, 公正, 公平で, 社会正義に基づいた行動を取っていこうとする判断力を育てる。	★差別や偏見のない社会にするためには大切なことは, 何だろう。 1 社会に存在する差別や偏見について考え, それについての疑問や考えを出し合う。 2 「ぼくの物語 あなたの物語」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(13)勤労】 34 「サッカー」と「働くこと」	「サッカー」に関わる多くの仕事や, 実際に仕事をしている3人の思いを知ることを通して, 「働く」とはということかを考えさせ, 働くことの意義を理解し, 将来の生き方について考えを深め, 働くことを通じて社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	★「働く」とは, ということだろう。 1 「サッカー」に関わる仕事を考えさせる。 2 『「サッカー」と「働くこと」』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1)自主, 自律, 自由と責任】 35 手品師	子供との約束を守り通した手品師の物語を通して, 「誠実」について考えさせ, 自主性や自律性を持ち, 自由と責任を引き受けて生きていこうとする判断力を育てる。	★「誠実」とは, ということだろう。 1 「誠実」の意味について考える。 2 「手品師」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気, 克己と強い意志】 18 私の再出発	78歳から81歳まで夜間学級で学び, 卒業後も学び続けようと決意する見目律子さんの作文を通して, 目標をもって学び, 困難を乗り越えて, 自分を高める喜びを実感して生きていこうとする実践意欲と態度を育む。	★目標をもって学び, 困難を乗り越えて自分を高めていくことについて, 考えよう。 1 学習に対する自分の考えを振り返る。 2 「私の再出発」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
11月	【D(22)よりよく生きる喜び】 19 足袋の季節	つり銭をごまかし, それを償うことができなかった過去のことを振り返った随筆を通して, 自分の弱さや醜さを見つめてそれを乗り越えることの大切さについて考えさせ, 誠実に生きようとする心情を育てる。	★人々がもつ弱さや醜さを見つめ, それを乗り越えようとする力について考えよう。 1 誰もがもっている弱さや醜さについて, 自分の生活を振り返って考える。 2 「足袋の季節」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】 20 陣子あかり	照明デザイナーの石井幹子さんが陣子あかりについて述べた文章を通して, 日本の文化を知り, 継承していくことの大切さについて考えさせ, 伝統と文化を尊重していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★日本の文化を知り, 継承することの意味を考えよう。 1 日本の家屋特有のものについて話し合う。 2 「陣子あかり」を読み, 日本文化を継承することの意味について話し合う。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
	【C(14)家族愛, 家庭生活の充実】 21 家族って? 家庭って?	家族や家庭の役割を, 家族のそれぞれの立場から考えることを通して, 家庭での自分の役割についての考えを深め, 家族の一員としての自覚をもって, より充実した家庭生活を築こうとする心情を養う。	★家族とは, どんなものだろう。 1 「家族」や「家庭」について振り返る。 2 「家族って? 家庭って?」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(20)自然愛護】 22 海とストロー	マイクロプラスチックのことを知り, それについて考える「菜月」への自我関与を中心とした学習を通して, 人間と自然との関わりについて考えを深め, 進んで自然環境を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	★自然を大切にすることは, ということだろう。 1 これまでに経験した自然との触れ合いについて振り返る。 2 「海とストロー」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
12月	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】 23 好いとっちゃん, 博多	郷土を愛し, その発展に尽力した西島伊三雄さんの思いや願いについて書かれた文章を通して, 郷土と自分との関わりについて考えさせ, 郷土に対する認識を深め, 郷土を愛し, その発展に努めようとする心情を育てる。	★郷土を愛する心について, 考えよう。 1 自分の故郷の伝統や文化について振り返る。 2 「好いとっちゃん, 博多」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(18)国際理解, 国際貢献】 24 希望の義足	ルワンダ内戦で負傷した人々を支援するプロジェクトを立ち上げた吉田真美さんらの活動について書かれた文章を通して, 世界で日本人として行動するのに大切なことは何かを考えさせ, 国際理解や国際貢献に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	★世界の中の日本人として行動するのに大切なことは, 何だろう。 1 国際協力の分野で活躍している日本人について考える。 2 「希望の義足」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気, 克己と強い意志】 25 『落葉』——菱田春草	日本画に新しい画法や考え方をもたらした菱田春草の生涯を描いた文章を通して, 信念や意志について考えさせ, 逆境にあっても希望や強い意志をもって生きていこうとする心情を育てる。	★理想に近づこうとする人の強い意志の源は, 何だろう。 1 自分の意志を貫徹し, くじけるのは, どんなときかを振り返る。 2 『落葉』——菱田春草を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(2)節度, 節制】 26 小さいこと	自分への「しつけ」として便所の草履をそろえるという習慣をつづった随筆を通して, 自らの生活を振り返り, 小さなことを継続していくことの尊さについて考えさせ, よい生活習慣を続けていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★よい生活習慣を実践するのに大切な心構えについて, 考えよう。 1 自分自身の生活習慣を振り返る。 2 「小さいこと」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
1月	【B(9)相互理解, 寛容】 27 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と, 彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して, 「寛容の心」について考えさせ, 他者の立場や考え方を尊重し, 理解し合おうとする心情を育てる。また, 人間には, 弱さや醜さを克服し気高く生きようとする心があることを理解し, よりよく生きることに喜びを見いだそうとする心情を育てる。	★丁海と実之助, それぞれの人物の視点を通して, 人の心のありようについて, 考えよう。 「寛容の心」とは, どんな心なのだろう。 1 誰かを許した経験や, 許せなかった経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】 28 巣立ちの歌が聞こえる	卒業式を前に自分たちの学校を意識し, 自主的に校舎を掃除したり修理したりした生徒たちの物語を通して, よい校風を作り, 継承していくために大切なことは何かを考えさせ, 学校生活や集団生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★よい校風を作り, 継承していくために大切なことは, 何だろう。 1 自分たちの学校のよさについて考える。 2 「巣立ちの歌が聞こえる」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(3)向上心, 個性の伸長】 29 先人の言葉——「論語」	「論語」の七つの章句を読むことを通して, 自分を見つめ, 輝かせることについて具体的に考えさせ, 向上心をもって, 充実した生き方をしようとする心情を育てる。	★人の生き方について語った先人の言葉を通して, 自分を見つめ, 自分を輝かせるためのヒントを手に入れよう。 1 「先人の言葉」を思い出し, 昔の人がどういうものの考え方をしていたかを振り返る。 2 「先人の言葉——「論語」」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
2月	【D(19)生命の尊さ】 30 命と向き合う	生命誌研究者の中村桂子さんによる, 命に関する文章を読み, 話し合うことを通して, 生命の尊さについて考えさせ, 生命を尊ぶ心情を育てる。	★命の尊さについて, 考えよう。 1 「生命の尊さ」についての, これまでの学びを振り返る。 2 「命と向き合う」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【内容項目を限定しない】 31 道徳の学びを振り返ろう	これまでに記入した「学びの記録」や「手紙〜拝啓十五の君へ〜」の歌詞を基に, 1年間の道徳で学んだことを振り返り, これからの自分の生き方について考えを深め, 学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の学びを振り返り, 未来の自分に手紙を書こう。 1 1年間の道徳の授業を振り返る。 2 自分に手紙を書く。 3 「学びの記録」に記入する。

令和6年度 生活指導部 生徒指導の方針と重点

1 生活指導方針

- (1) 安全で、誰もが安心した学校生活のできる教育環境をつくる。
- (2) 全教職員が共通した指導方針のもと、指導実践を行う。
- (3) 一人ひとりの生徒と真剣に向き合い、生徒理解・生徒指導を行う。
- (4) 中学生としての自覚ある行動を引き出し、自主的・自立的な活動を行う。
- (5) 「手応え」のある未然防止型の指導を行う。

2 指導の重点目標

- (1) 規律ある中で、一人ひとりが活きる豊かな個性を育む。
 - ・ 基本的な生活習慣、生活態度を身に付けさせ、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
 - ・ 規範意識、礼儀・マナーを身につけ、好ましい人間関係をつくる。
 - ・ 意欲をもって考え、主体的に取り組む姿勢を育てる。
 - ・ 生徒一人ひとりの特性に沿った細かい指導を行う。
- (2) 互いに信頼し合う集団をつくり、いじめを防止する。
 - ・ 生徒一人ひとりの対話を大切にし、生徒が相談しやすい関係を築く。
 - ・ 生徒会活動、学級活動、部活動、行事などを通じ、生徒と教員、生徒同士の信頼関係を築く。
 - ・ 互いに話しやすい雰囲気をつくるとともに傾聴力を高める。
 - ・ 互いの違いを理解し、一人ひとりが可能性を発揮できる場を設ける。
 - ・ 継続的にSNSトラブル防止・タブレットルールの啓発を行う。
- (3) 一人ひとりが「自分のよさ」に気づき、自己肯定感を高める。
 - ・ 生徒会活動、係活動、当番活動などを通じ、自己有用感を高める。
 - ・ 集団の中で生かすことのできる「自分のよさ」に気づけるよう意識させる。
 - ・ あらゆる教育活動の場面で教員からの働きかけによって、自己肯定感を高める。
- (4) 集団での協働の場面を通じ、主体的・自立的な活動を行っていく。
 - ・ 生徒会活動、学級活動、部活動、行事などを通じて、生徒の自主的・自立的能力を育てる。
- (5) 地域・保護者の理解をはかり、連携を深める。
 - ・ 保護者に対する親切・丁寧な対応を心がけ、学校に対する信頼を高める。
 - ・ 地域の方々との交流を大切にすると共に、ボランティア活動への積極的な参加を促す。

令和6年度 安全指導年間計画

1 避難訓練について

(1) 目的

火災、震災等の災害発生時において、自他の生命の保全と危険に直面した時、自他の安全を図り、臨機応変に物事を処理する判断力や態度、技能の素地を作る。

(2) 年間計画 ※実施要項確認

月/日 (曜)	内 容	行 動 予 定
4月18日 (木)	緊急時の避難経路の確認	避難経路・集合隊形・人員点呼・報告方法の確認
5月24日 (金)	火災 家庭科調理室より出火	校庭集合 (経路の確認)
6月14日 (金)	地震	地区別に分かれ班員の確認
7月13日 (土)	引き取り訓練	保護者による引き取り訓練
9月2日 (月)	防災の日 ・ 集団下校 町会ごとの班員確認	災害時などによる、町会ごとの集団下校 校庭集合 (経路の確認)
10月10日 (金)	地震	校庭集合 (経路の確認)
11月22日 (金)	地震による火災発生 家庭科調理室より出火	校庭集合 (経路の確認)
12月19日 (金)	不審者対応訓練	不審者対応訓練
1月21日 (火)	火災 第2理科室より出火	校庭集合 (経路の確認)
2月13日 (木)	火災 給食室より出火	昼休み中の火災 校庭集合 (経路の確認)
3月6日 (木)	地震 (予告なし訓練)	校庭集合 (経路の確認)

2 安全指導について

(1) 目的

日常生活において安全に生活するために、また、火災・地震等の災害発生時や交通関係による危険に直面した時、自他の安全を図り、臨機応変に物事を処理できる判断力や態度、技能の素地を作る。

(2) 年間計画

月/日 (曜)	内 容	行 動 予 定
4月22日 (月)	登下校時の経路について エアコン 加湿器の使用について	登下校時の経路確認、横断歩道の正しい利用 大規模地震発生時の生徒引き取り確認表配布・回収 エアコン・加湿器係選出
5月13日 (月)	登下校の安全について	正門前横断について 通学路の安全不審者対策について
6月10日 (月)	登下校時の経路確認 災害発生時の避難	登下校経路確認 登下校時の危険場所確認 不審者に対する取るべき行動
7月1日 (月)	夏休みの交通安全 夏休みのしおりにより指導	夏休みの交通安全夏休みのしおりにより指導
9月2日 (月)	校内生活の安全について	校内危険箇所の確認 不審者への対応 校内生活上のケース別避難について
10月7日 (月)	登下校の安全について	登下校中の交通安全
11月11日 (月)	冬季におけるエアコン・加湿器 の取り扱いについて	エアコン・加湿器取り扱い等の注意 (再確認)
12月9日 (月)	防火安全器具について	防火シャッターについて 消火器について (場所確認) 消火栓について (場所確認)
1月8日 (水)	校内生活の安全について	廊下・教室等での危険行為についての指導 教室の換気について AED設置について (場所確認)
2月3日 (月)	自転車の乗り方	歩行者の通行を妨げない 危険な乗り方をしない 交通マナーを守る
3月3日 (月)	春休みの交通安全	自転車乗車時のマナー 自転車の点検

(3) その他

- セーフティ教室 交通安全について (未定)
- ネットリテラシー養成講座 (1学年) 5月30日 (金) 6校時 (14:35~15:25)
- 交通安全講習会 (全学年) 10月24日 (木) 6校時 (14:35~15:25)

令和6年度 学校保健年間計画

教育相談部 保健

保健管理			保健教育	
保健目標	保健	環境	個別・日常指導内容	生徒会活動
4 自分の健康状態を把握しよう	・定期健康診断 ・(前期)保健給食委員会発足	・飲料水検査 ・教室環境整備	・保健室の利用方法 ・健康診断の目的・受け方	・組織づくりと年間計画作成 ・石けんの点検、補充 ・食育放送
5 自分の健康に関心をもち、病気の早期発見や治療、疾病予防に努めよう	・健康観察 ・健康相談 ・保健調査記入 ・結核検診、運動器検診の問診 ・健康診断の計画と実施と事後措置 ・要配慮生徒名簿作成	・飲料水検査 ・教室環境整備 ・照度、照明検査 ・騒音レベル検査	・疾病の早期治療 ・運動会に向けての健康管理 ・修学旅行時の健康管理	・熱中症予防の呼びかけ ・運動会前の呼びかけ ・食育放送
6 歯の健康について考えよう 熱中症を予防しよう	・健康観察 ・健康相談 ・健康診断の実施と事後措置 ・運動会 ・修学旅行前健診	・飲料水検査 ・教室環境整備 ・プールの水質及び施設、設備の点検、整備	・歯の健康 ・応急処置の仕方 ・熱中症予防	・熱中症予防の呼びかけ ・食育放送
7 1学期の生活を振り返るとともに、 8 夏季における健康な生活の仕方を身につけよう 命の大切さを考えよう	・健康観察 ・健康相談 ・2次検査・治療の勧め ・水泳時の救急体制と健康管理 ・熱中症予防	・飲料水検査 ・ダニ、アレルゲン検査 ・プール日常点検 ・教室の空気検査	・夏を健康に過ごす ・身体、衣服の清潔 ・熱中症予防 ・タバコの害	・熱中症予防の呼びかけ ・食育放送
9 生活のリズムを整えよう	・夏休み後の健康調査 ・健康観察 ・健康相談 ・疾病治療状況の把握 ・水泳時の救急体制と健康管理	・飲料水検査 ・プール日常点検	・規則正しい生活 ・けがの予防と応急処置	・専門委員会前期の反省と後期の活動の計画 ・食育放送 ・食育標語の選定 ・食育標語選定
10 目を大切にすることを身につけよう	・健康観察 ・健康相談	・飲料水検査 ・照度照明検査 ・教室環境整備	・目の健康	・食育放送 ・食育標語の選定
11 正しい姿勢を心がけよう	・健康観察 ・健康相談 ・かぜやインフルエンザ予防対策	・飲料水検査 ・換気状態点検 ・教室環境整備	・学習時の正しい姿勢 ・感染症予防	・食育放送 ・食育標語結果発表
12 冬季における健康で安全な生活の仕方を考え、実践に努めよう	・健康観察 ・健康相談 ・欠席状況調査 ・室内の換気及び手洗い指導	・飲料水検査 ・換気状態点検 ・教室環境整備	・感染症予防 ・冬休みの過ごし方	・学習成果展覧会 ・展示物の作成 ・食育放送 ・感染症予防強化月間
1 感染症の予防と環境衛生の充実について理解し実践しよう	・欠席状況調査 ・健康観察 ・室内の換気及び手洗いの励行	・飲料水検査 ・教室の空気検査 ・換気状態点検 ・教室環境整備	・感染症予防 ・規則正しい生活	・感染症予防強化月間 ・学習成果展覧会展示物の作成 ・食育放送
2 心身の健全な発達に関心をもち、自己の生活を見直そう	・学習成果展覧会 ・学校保健委員会	・飲料水検査 ・換気状態点検 ・教室環境整備	・感染症予防	・学習成果展覧会展示物の作成 ・食育放送 ・感染症予防強化月間
3 健康生活の反省をし、よりよく生きていくための生活について考えよう	・次年度計画立案提案 ・健康観察 ・春休みの健康生活指導と健康管理	・飲料水検査 ・換気状態点検 ・保健室薬品点検 ・教室環境整備	・1年間の健康生活の振り返り	・専門委員会後期の反省 ・感染症予防ふりかえり ・食育放送

令和6年度 食に関する指導の全体計画

【生徒の実態】
 ・朝ごはんを毎日食べる生徒 88%
 ・給食残食率 13%
 【保護者・地域の実態】
 ・周りに畑が多く、農作物に触れる機会が多い。

学校教育目標
 人権尊重の精神を基調として、自ら考え、自ら学び、主体的に生きる生徒の育成を目指す。次の目標を設定する。
 1 より深く学ぶ
 2 勇気と思いやりをもつ
 3 健康で明るい

【第4次食育推進基本計画】
 ・朝食を欠食する子供の割合 0%
 ・栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民 50%以上
 【東京都食育推進計画】
 ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2食(回)以上食べている人の割合 90%以上
 【世田谷区教育要領】
 ・健やかな身体の育成

食育の視点
 ◇食事の重要性
 ◇心身の健康
 ◇食品を選択する能力
 ◇感謝の心
 ◇社会性
 ◇食文化

食に関する指導の目標
 (知識・技能)
 食事の重要性や食文化等について理解し、健やかな身体に関する知識や技能を身に付けている。
 (思考力・判断力・表現力等)
 食生活や食の選択について考え、自ら管理し判断ができる。
 (学びに向かう力・人間性等)
 食事のマナーを通してコミュニケーション能力を養い、食に関わる人々に感謝する態度を身に付けている。

幼稚園・保育所
 幼保連携型
 認定こども園
 小学校
 世田谷11+に基づき、子どもたちが主体的に取り組むために必要な資質・能力を育てる。

各学年の食に関する指導の目標		
1年	2年	3年
望ましい食事の仕方を理解し、自ら献立を立てることができる。 栄養素の働きについて考え、適切な食品の選択ができる。 日本の優れた食文化を尊重し、後世に伝えようとする態度を身に付けている。	食環境と食生活の関わりを理解し、自分の食生活を営つめなおすことができる。 生産者や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使つて調理することができる。 食事を通して、相手への心遣いができるようにする。	日本や世界の風土や食文化を理解し、自分の食生活と深く結びつけることができる。 自らの健康を保持増進しようとし、正しい情報に基づいて判断できる。 SDGsについて考え、環境や資源に配慮した食生活を実践できる。

食育推進組織（食育推進）

栄養教諭＋1名（総合的な学習の時間及び教科「日本語」においては、各学年の担当と連携）

食に関する指導

- 教科における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
 社会、理科、技術・家庭科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等
- 給食の時間における食に関する指導：「食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
 給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
- 個別的な相談指導：食物アレルギー・疾患、肥満・やせ傾向、スポーツ、偏食 等

地場産物の活用

永井農園と契約し、「せたがやそだち」の野菜を使用
 給食通信の放送による給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と関連を図る

家庭・地域との連携

積極的な情報発信、関係者評価の実施、地域ネットワーク（人材バンク）等の活用
 学校だより、給食だより、学校給食試食会、家庭教育学級、学校保健委員会、講演会、ホームページ、学校運営協議会 等

食育推進の評価

活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
 成果指標：生徒の実態、保護者・地域の実態

令和6年度 食に関する指導の年間指導計画

教科等			4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等			入学式	運動会				合唱コンクール				学習成果展覧会	卒業式
推進体制	進行管理		委員会			委員会		委員会		委員会		委員会	
	計画策定	計画策定											
教科・道徳 総合的な学習の時間	社会					日本の諸地域(九州)【2年】	日本の諸地域(中国・四国)【2年】	日本の諸地域(中国・四国)【2年】	日本の諸地域(近畿)【2年】、私たちの暮らしと経済【3年】	世界各地の人々の生活と環境、世界の諸地域(ヨーロッパ・アジア)【1年】、日本の諸地域(近畿)【2年】、私たちの暮らしと経済【3年】	世界の諸地域(ヨーロッパ・南アメリカ)【1年】、日本の諸地域(中部・関東)【2年】	世界の諸地域(北アメリカ・南アメリカ)【1年】、日本の諸地域(東北)【2年】	世界の諸地域(オセアニア)【1年】、日本の諸地域(北海道)【2年】
	理科			植物のなかま【1年】	植物のなかま【1年】	植物のなかま【1年】、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子【3年】	植物のなかま【1年】、自然のつながり【3年】	植物のなかま【1年】、動物の体のつくりとはたらき【2年】		動物のなかま【1年】		自然環境と人間【3年】	
	技術・家庭							食生活と栄養【1年】、生物育成に関する技術【2年】	献立作りと食品の選択【1年】、幼児の生活と家族【3年】			調理と食文化【1年】	
	保健体育									食生活と健康【2年】			
	他教科			ダイコンは大きな根？【1年】	握手【3年】			学校の文化祭【1年】、伝統的和菓子のレパートリー作り【3年】	故郷【3年】				
	教科「日本語」			食べ物と自然【1年】						食器随想【3年】	日本の発酵文化【1年】	未来に伝えていきたい日本の「食」【1年】	
	道徳	各学年の状況に合わせて											
総合的な学習の時間							大蔵大根栽培【1年】		器から考えるECO【2年】			生産者の話を聞く会【2年】	
特別活動	学級活動・食育教材活用		スポーツと栄養の関係を知ろう【2年】							健康な骨や歯を作ろう【1年】			バランスの良い食事を選ぼう【3年】
	生徒会活動	給食当番の健康チェック、給食時の呼びかけ、毎日の給食通信の放送、食育放送											
	学校行事	健康診断					移動教室	職場体験・修学旅行				学校保健委員会	校外学習
	給食の時間	給食指導 食に関する指導	給食時間の過ごし方・準備、後片付けの仕方・協力体制・当番の身支度・手洗いの励行 朝食の大切さを見直そう 伝統的食文化(行事食・節句料理・郷土料理)・朝食・生活リズム 夏の食卓(夏野菜・水分補給・夏バテ予防)			準備・後片付けの仕方・給食当番と当番以外の効率的な動き 日本食を見直し良さを知らう(郷土の産物・郷土への関心) 食事のあいさつ、マナー、バランスのよい食事(3食のバランス、寒さに負けない食事(風邪予防・冬至とかぼちゃ))		正しい食事マナー・はし、食器の持ち方・会話の内容・食事のあいさつ 楽しい給食時間の過ごし方を考えよう(1年間の振り返り) 学校給食週間(歴史・伝統食と世界の料理) 生活習慣病予防					
学校給食の関連事項	月目標	マナーを守って楽しく食事をしよう	朝食の大切さを知ろう	衛生、安全に気をつけよう	暑さに負けないための食品を知ろう	環境について考えよう	バランスの良い食事をしよう	食べ物を大切にしよう	寒さに負けないための食品を知ろう	献立に関心を持って食べよう・日本の文化を知ろう	健康と栄養を考えて食べよう	1年間を振り返ろう	
	食文化の伝承	お花見献立	端午の節句献立	入梅献立	七夕献立	重陽の節句献立			冬至献立	正月料理・鏡開き	節分献立	桃の節句献立	
	行事食	入学進級祝い献立		カミカミ献立		お月見献立(十五夜・十三夜)		和食献立		給食週間行事献立		卒業祝い献立	
	その他	世界の料理 郷土料理											
	旬の食材	かぶ、キャベツ、菜の花、ふき、筍、さやえんどう、うど、いちご、清見オレンジ、河内桃、めばる、あさり、飛び魚、鰻、さよ、桜えび、わかめ	人参、キャベツ、さやえんどう、そら豆、グリーンピース、アスパラガス、緑茶、じゃがいも、玉葱、びわ、メロン、飛び魚、鰻、さよ、桜えび、わかめ	人参、キャベツ、斑瓜、さやえんどう、玉葱、アスパラガス、じゃがいも、ブルーベリー、びわ、メロン、梅、プラム、さくらんぼ、パイン、鮭、鰻、いさぎ、太刀魚、鮎、飛び魚、鯛	オクラ、人参、南瓜、胡瓜、しそ、さやえんどう、トマト、西瓜、茄子、枝豆、じゃがいも、ピーマン、冬瓜、とうもろこし、メロン、さくらんぼ、プラム、パイン、ブルーベリー、鮭、鰻、鮎、穴子、鯛、太刀魚	小松菜、茄子、里芋、蓮根、人参、冬、瓜、生、菜、蓮、根、きのこ類、梨、りんご、柿、マスカット、秋刀魚、鮭、鰻、かき、いわし、はたはた、秋刀魚、昆布	キャベツ、蓮根、小松菜、人参、米、蓮、根、人参、栗、きのこ類、梨、りんご、柿、マスカット、秋刀魚、鮭、鰻、かき、いわし、はたはた、秋刀魚、昆布	小松菜、ほうれん草、青梗菜、キャベツ、ねぎ、白菜、大根、ごぼう、春菊、かぶ、人参、里芋、みかん、りんご、りんご、西洋なし、秋刀魚、鮭、鰻、かき、いわし、はたはた、秋刀魚、昆布	キャベツ、生、菜、白菜、大根、ねぎ、ごぼう、小松菜、ほうれん草、春菊、かぶ、人参、里芋、みかん、りんご、りんご、西洋なし、秋刀魚、鮭、鰻、かき、いわし、はたはた、秋刀魚、昆布	人参、キャベツ、小松菜、春菊、大根、ねぎ、白菜、ほうれん草、かぶ、ブロッコリー、カリフラワー、いよかん、八潮、れんこん、ネーブル、レモン、鮭、鰻、鮎、海苔、鰻、白、魚、鰻、鮎、海苔、わかさぎ、帆立	小松菜、ほうれん草、白菜、大根、春菊、ねぎ、三つ葉、明日葉、カリフラワー、いよかん、八潮、れんこん、ネーブル、レモン、鮭、鰻、鮎、海苔、鰻、白、魚、鰻、鮎、海苔、わかさぎ	小松菜、ほうれん草、白菜、大根、春菊、ねぎ、三つ葉、からし菜、韭、菜の花、いちご、オレンジ、いよかん、八潮、しらぬい、ひじき、鮭、めばる、わかさぎ	
地場産物		キャベツ、じゃがいも、人参	キャベツ、じゃがいも、人参、玉葱、胡瓜	キャベツ、じゃがいも、人参、玉葱、胡瓜	キャベツ、じゃがいも、人参、玉葱、胡瓜	小松菜、茄子、冬瓜、りんご	小松菜、キャベツ、りんご	白菜、大根、人参、キャベツ、ねぎ、里芋、小松菜、ほうれん草	白菜、大根、ねぎ、小松菜、ほうれん草、人参、里芋、小松菜	白菜、ねぎ、小松菜			
個別的な相談指導		面談Ⅱ								管理指導表配布	管理指導表提出	面談Ⅰ	
積極的な情報発信(自治体広報誌、ホームページ)、関係者評価の実施、公民館活動、地域ネットワーク(人材バンク)等の活用													
家庭・地域との連携		学校だより、食育(給食)だより、保健だよりの発行 ・朝食の大切さ・運動と栄養・食中毒予防・夏休みの食生活・食事の量					・地元野菜の特色・地場産物のよさ・日本型食生活のよさ					・バランスのとれた食生活・心の栄養	
		学校保健委員会											

地域の実態 多摩川の近くにあり、自然に恵まれた地域で、畑作をする農家もある。学校の教育活動にも協力的である。	学校の教育目標 自ら考え、自ら学び、主体的に生きる生徒の育成 1 より深く学ぶ(生徒を育てる)。 2 勇氣と思いやりをもつ(生徒を育てる)。 3 健康で明るい(生徒を育てる)。	生徒の実態 ・健康的で明るい。 ・素朴で素直。 ・思いやりがあり優しい。 ・自主性がやや弱く、指示を待つ傾向がある。
--	---	---

キャリア教育の目標 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づき職業観・勤労観を育む態度を育成する。 「理想への挑戦」を軸に、多様性に溢れる社会を「生き抜く力」と「自ら展望して理想に向かう力」の育成・強化を図る。
--

	1年	2年	3年
目標(各学年)	自己の良さに気づく 様々な活動をおとして、自己を見つめ自己のキャリア形成について関心を高め、進んで将来の計画を立てられる生徒を育成する。	自分の良さを活かす 体験的な活動での情報を積極的に取り入れ、人として生き抜く力を身に付けられる生徒を育成する。	自分の良さを高める 将来の生き方を考え、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現しようとする生徒」を育成する。
基礎的・汎用的能力	人間関係形成 ・社会形成能力 自分の良さが個性が分かり、自己と他者の違いに気づき、尊重する。	自分の言動、行動が他者に及ぼす影響がわかり、互いに支えながら仕事を。	他者に配慮しながら、積極的に人間関係を構築する。
	自己理解 ・自己管理能力 よりよい集団活動のため、自分の役割や活動の進め方が分かる。	社会の一員としての自覚をもち、自分の果たすべき役割を考える。	社会と自己の関わりから自分の特徴に気づき、自分らしい生き方を考える。
	課題対応能力 学習や活動の過程を振り返り、次の場面に活かそうとする。	課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。	より良い生活や学習、進路や生き方を目指し、自ら課題を見だし、その達成に向けて努力する。
	キャリア プランニング能力 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心を高める。	体験活動等とおとして、勤労への意欲や働く人々の思いを理解する。	自己の個性、興味や関心に基づき、より良い進路選択を実現しようとする。
各教科	・適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力を養う。 ・主体的な課題解決能力を習得する。		
特別活動	・人として生き方についての自覚を深め、自己を活かす能力を育成する。 ・集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする態度を育成する。		
総合的な学習・日本語	・体験的な活動をおとして、自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成する。 ・学び方やものの考え方を身に付け、探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育成する。		
キャリア・パスポートの活用	・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・職業調べ等	・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・上級学校訪問、職場体験等	・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・訪問授業、進路学習等

令和6年度 キャリア教育 年間指導計画 1 学年

1. 学校の目標

(1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。

(2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づき職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第1学年のテーマおよび年間指導計画

「自分の良さに気づく」

様々な活動をおして、自己を見つめ自己のキャリア形成について関心を高め、進んで将来の計画を立てられる生徒を育成する。

月	内容
4	・中学生になって (作文) ・キャリアパスポート (学年初め)
5	・学習の方法と計画 ・行事への取り組み (運動会)
6	・ソーシャルトレーニング ・ネットリテラシー講習会
7	・1学期の生活のまとめ ・キャリアパスポート (学期末) ・夏休みの生活の仕方 ・職業調べ
9	・行事への取り組み (移動教室)
10	・行事への取り組み (合唱コンクール) ・キャリア学習
11	・キャリア学習
12	・自分を知る ・キャリアパスポート (学期末)
1	・キャリア学習
2	・キャリア学習
3	・1年間の反省と抱負 ・キャリア学習 ・社会人の話を聞く会 ・キャリアパスポート (学年末)

令和6年度 キャリア教育 年間指導計画 2学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第2学年のテーマ

○テーマと目標

「自分の良さを活かす」

体験的な活動での情報を積極的に取り入れ、人として生き抜く力を身に付けられる生徒を育成する。

月	テーマ	活動
4	2年生になって (作文) 2年生の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートなどを活用し自己理解を深め、表現する。
5	学習の方法と計画 運動会 (キャリアパスポート)	効果的な学習を実践するために計画を立てる。 自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	職場体験に向けての取組 職場体験・事前 (キャリアパスポート)	将来の自分、働くことについて考え、体験的な活動に向けて情報収集し、それらについてまとめる。
	上級学校調べ 上級学校訪問に向けての取組	卒業後の自分を具体的に想像し、進路実現に向けて上級学校について調べ、訪問に向けて予定を立てる。
7	学期を振り返る (キャリアパスポート) 夏休みの計画 上級学校訪問 (7～8月)	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。 上級学校を訪問し、その内容をまとめる。
9	学期の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートを活用し学期の目標について考え、表現する。
10	職場体験・自己PRの作成	自分の良さを適切に表現する能力を育成し、伝える力を高めるとともに思考力を養う。
11	職場体験・事後 (キャリアパスポート)	体験活動等をおとして、勤労への意欲や働く人々の思いを理解し、自分が考えたこと、経験したことを表現する。
12	学期を振り返る、学期の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、新学期は目標について考え、表現する。
1	自分の特性と進路	自分の将来や生き方、在り方について考える。
2	校外学習に向けての取り組み	校外学習に向けて計画を立てる。
3	社会人の話を聞く会 校外学習・1年間を振り返る (キャリアパスポート)	学び方やものの考え方を身につけ、探求活動に主体的・創造的・共同的に取り組み態度を育成する。キャリアパスポートを活用し、校外学習や、1年間を振り返る。

※単元や内容を変更する場合があります。

令和6年度 キャリア教育 年間指導計画 3 学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第3学年のテーマ

○テーマと目標

「自分の良さを高め、深める」

中学校生活での経験やそこで感じた気持ちを言語化することにより、自分の良さを高める。

月	テーマ	活動
4	3年生になって (作文) 自分の良さを高めるための自己紹介	3年生になったの決意を残す。自分の個性を発揮した自己紹介を行う。
5	学習の方法と計画 運動会 (キャリアアパスポート)	効果的な学習を実践するために計画を立てる。 自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	高校訪問授業 高校調べ	進路について情報収集し、それらについてまとめる。
	上級学校訪問に向けての取組 進路説明会	卒業後の自分を具体的に想像し、進路実現に向けて上級学校について調べ、訪問に向けて予定を立てる。
7	学期を振り返り返る (キャリアアパスポート) 夏休みの計画 上級学校訪問 (7～8月)	キャリアアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。 上級学校を訪問し、その内容をまとめる。
9 10 11	学期の目標 (キャリアアパスポート) 「私の記憶に残る一瞬」の発表 第2回 進路説明会 自己PRカードの作成 入試に向けて	キャリアアパスポートを活用し学期の目標について考え、表現する。 自分の良さを適切に表現する能力を育成し、伝える力を高めるとともに思考力を養う。 入試に向けての取り組みを通して、自分の進路を選択できるようにする。
12 1	学期を振り返り返る、学期の目標 (キャリアアパスポート) 自分の特性と進路	キャリアアパスポートを活用し学期を振り返り、新学期は目標について考え、表現する。 自分の将来や生き方、在り方について考える。
2	入試に向けての取り組み	よりよい将来について考え、自分の進路について考える。
3	社会人の話を聞く会 中学校生活を振り返る (キャリアアパスポート)	学び方やものの考え方を身につけ、探求活動に主体的・創造的・共同的に取り組む態度を育成する。キャリアアパスポートを活用し、中学校生活を振り返る。

令和6年度 総合的な学習の時間の時間 全体計画

憲法・教育基本法・
学校教育法・諸法規
学習指導要領・
世田谷区教育要領

時代や社会の要請
・予測困難な時代の中、自
らの生き抜く力
・SDGsに寄与するRSD教育
や人権教育の推進

学校の教育目標
人権尊重の精神を基調として、自ら考え、
自ら学び、主体的に生きる生徒の育成
1 より深く学ぶ（生徒を育てる）。
2 勇気と思いやりをもつ（生徒を育てる）。
3 健康で明るい（生徒を育てる）。

生徒の実態
・健康的で明るい
・素朴で素直
・思いやりがあり優しい
・自主性がやや弱く、
指示を待つ傾向がある。
保護者等関係者の願い
・思いやりのある子
・自主的に物事に取り
組む子

総合的な学習の時間の目標

・身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して
自己を見つめる能力を育成する。
・主体的な活動や体験活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、か
つ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め、深めなが
ら、自分らしい生き方を考え、自己決定する力を育成する。
・よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を
育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

学校テーマ「自然に学ぶ、社会に学ぶ」

各学年のテーマ・目標・活動内容

○「身近な環境」（身近な社会と触れ合いながら地域を知る）
身近な地域社会における体験活動や奉仕活動を通して、自
然や地域社会との共生のためのコミュニケーション能力を育
て、自ら課題を見いだす、学ぶ意欲のある生徒を育成する。
・農業体験・ネットリテラシー講座・環境講座
・移動教室・ソーシャリスキルトレーニンング
・身近な方の職業調べ・キャリアパスサポート
・社会人の話を聞く会・食育
・その他

○「地域や社会と私」
正しい職業観を育てるとともに、地域社会との関わりについて、自
ら学び、考え、表現できる力を育てる。また、主体的な活動を通じて
自己理解を深めさせ、より良い進路選択へとつながる考え方の基礎を
養う。
・職業体験
・キャリアパスサポート
・生産者の話を聞く会
・社会人の話を聞く会
・その他

○「公共・社会と私」
自己の生き方を考えさせ、自分の良さを高め、深めながら自分ら
しい進路選択ができる力を育てる。社会の一員としての自覚を高
め、公共・社会と自分との関わりや、公共・社会の中でできること
を考える。
・自己理解、自己表現活動（自己PR）、キャリア学習
・高校の先生のお話を聞く会
・キャリアパスサポート
・修学旅行・緊急救命講習・命のふれあい体験
・社会人の話を聞く会・食育
・その他

各教科における 総合的な学習の指導方針

・インタビューや発表
などの学習活動に必要
な「話す・聞く」力、文書
や原稿の作成にあたり
ての「書く」力や言語能
力を育てる。
・資料等を読み取る基
礎的な国語力を養う。

・人間の歴史や、地域、
自国、世界の国々の様
子、国際社会のあり方
へ理解を深める。
・資料等を読み取り、
思考する力を養う。

・論証する力、論理的に
思考する力を養う。
・数値から物事を理解
する力を養う。
・グラフなどの資料の
扱い方を学ぶ。

・科学的な見方、考え方
を養い、問題解決に取り
組む能力を身につける。
・真理を追究する姿勢を
養う。

・芸術的観点から価値を
養うとともに文化を理
解する素養を育てる。
・表現活動を豊かにし、
互いにそれを認め合う
情操を養う。

・生きること、安全に通
すことへの知識を身に
つける。
・体験的活動を通じて、生
活を充実させる工夫や
知恵を身につけ、実践的
な生活態度を養う。

・外国の言語、文化を学
び、異文化交流・国際理
解をすすめるための基
礎を養う。

総合的な学習の時間における指導の方針

・本校のスローガンでもある「理想への挑戦」～今、そして未来へ～を軸に、多様性
に溢れる社会を「生き抜く力」と「自ら展望して理想に向かう力」の育成・強化を図
る。また、体験活動と教科指導を効果的に関連させ、確かな自信や自分らしさの獲得
の充実を図る。

連携の方針

・家庭向けの各種「通信」
発行と、様々な場面への
保護者の参加等の交流
を提案を行う。
・体験活動での交流や、
行事への地域の方々の
参加、道徳授業への人材
協力等での交流を深め、
協力体制の確立を図る。

道徳の時間における 目標と方針

・問題解決的な学習の中
で、議論を考へること
で、道徳的な判断力、心
情、実践意欲と態度を身
につける。
・感謝と思いやりの気持
ちや、奉仕の精神をもつて
積極的に行動しようとし
る生徒を育てる。
・自己を見つめ、物事を
広い視野から多角的・多
面的に考え、生き方に
ついて考えを深める。

生活指導における 総合的な学習の指導の方針

・集団の一員としての
自覚をもち、自らの目標を
もって努力する生徒を育て
る。

学級・学校環境 の充実・整備

・人権に関する図
書の充実を図る。
・体験活動の発
表、報告等、道徳
教育に資する展
示物を掲示する。

令和6年度 総合的な学習の時間の年間指導計画 1学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、多様性に溢れる社会を「生き抜く力」と「自ら展望して理想に向かう力」の育成・強化を図る。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第1学年のテーマおよび年間指導計画

「身近な環境」(身近な社会と触れ合いながら地域を知る)

身近な地域社会における体験活動や奉仕活動を通して自分の良さに気づき、自然や地域社会との共存のためのコミュニケーション能力を育て、自ら課題を見だし、学ぶ意欲のある生徒を育成する。

月	単元	内容	時数
4	総合的な学習の時間のガイダンス	総合的な学習の学年のテーマと目標	1
	移動教室への取組 1	移動教室の概要、事前学習	1
5	移動教室への取組 2	集団作り	6
	ネットリテラシー醸成講座	ネチケットを含むネットマナーの講習	1
6	移動教室への取組 3	事後学習 1	1
7	移動教室への取組 4	事後学習 2	1
	農作業体験への取組 (地域学習)	農家の方からの話 (喜多見地区を学ぶ)	1
9	農作業体験 (食育) への取組	草取り 施肥	4
		種まき 寒冷紗設置	
		発芽観察 草取り	
10	安全教育	交通安全教室、事後学習	2
	農作業体験 (食育) への取組	間引き 草取り	3
	大根料理	間引き 菜料理	1
11	キャリア教育 1	進路選択の考え方	2
	キャリア教育 2	職業調べ	3
12	農作業体験 (食育) への取組	収穫	2
	大根料理	大根料理	1
1	キャリア教育 4	自分探し	2
2		キャリアパスポートの作成	1
3			
			計 33 時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和6年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 2学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、多様性に溢れる社会を「生き抜く力」と「自ら展望して理想に向かう力」の育成・強化を図る。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第2学年のテーマ

○テーマと目標
「地域や社会と私」

正しい職業観を育てるとともに、地域社会との関わりについて、自ら学び、考え、表現できる力を育てる。
また、主体的な活動を通じて自分の良さを活かし、よりよい進路選択へとつながる考え方の基礎を養う。

月	単元	内容	時数
4	進路学習についての導入	総合的な学習について 身の回りの人への感謝の気持ちについて考える。	2
5	進路学習について	働くことについて考える。色々な職業について知る。	2
6	職場体験に向けての取組	職場体験について学習する。	2
7	上級学校調べや上級学校訪問に向けての取組	事前学習 訪問体験（夏休みに訪問予定。レポートにまとめる） 事後学習	2
	職場体験に向けての取組	職業について 事業所決定	1 1
9	職場体験（実施できない場合は、それに代わる体験的な行事を考える） 色々な社会に触れよう（1）	社会人としての心構え	2
10		事前学習・事前訪問	4
11		職業体験 事後学習	12 2
12	校外学習に向けての取組	校外学習 へ向けての準備	2
1 2	校外学習、校外学習事後学習	校外学習、校外学習事後学習	10
3	色々な社会に触れよう（2）	様々な職業について学び、自分の将来や生き方、在り方について考える。	2

計44時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和6年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 3 学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、多様性に溢れる社会を「生き抜く力」と「自ら展望して理想に向かう力」の育成・強化を図る。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第3学年のテーマ

○「公共・社会と私」

自己の生き方を考えさせ、自分の良さを高め、深めながら自分らしい進路選択ができる力を育てる。社会の一員としての自覚を高め、公共・社会と自分との関わり、できることを考える。

月	単元	内容	時数
4	修学旅行事前学習	事前学習	5
5	修学旅行	修学旅行	10
6	修学旅行・事後学習	修学旅行・事後学習	4
7	進路学習のスタート	進路学習の見通しと目標	2
	高校の先生による講話・事前学習	事前学習・高校の先生による講話	2
9	進路学習	夏休みの上級学校情報の活用	1 3
10	進路学習	自己理解	2
11	進路学習	面接練習、マナー講習会 集団討論	2
12	進路学習	自己表現への取り組み 自己PR	3
1	進路学習	自己理解・自己表現活動	7
2			
3	「社会人の話を聞く会」への取組	講演会	2
	命のふれあい体験	乳幼児と母親との交流	2

計 45 時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和6年度 教科「日本語」年間指導計画 1 学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自身自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

2 1 学年の年間指導計画

月	領域	単元	時数
4	表現	率直な自己表現（日本語ガイダンスを含む）	2
5	哲学	視野を広げて考える	1
	表現	対話の基礎	1
	哲学	人とのかかわりについて考える	1
6	哲学	新聞を活用して考えるーメディアリテラシー	2
		「食」ー食べる1 食物と自然	3
7	日本文化	日本の発酵文化	
		未来に伝えていきたい日本の「食」	
9 10	表現	知的書評合戦 ビブリオバトル	2
1	日本文化	和歌に親しもう 百人一首 または、「食」ー食べる2 食物と自然、食事を豊かにする	2
	表現	相手・場面とことば	1
2	哲学	生きることについて考える	1
	哲学	自然とともに生きることを考える	1
3	表現	私のニュース解説ーメディアリテラシー	2

計 19 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和6年度 教科「日本語」年間指導計画 2学年

1 学校の方針

(1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。

(2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自身自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。

(3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

月	領域	単元	時数
4	哲学	もう一度「考える」ことを考える	1
	哲学	自然と共に生きることを考える	1
5	哲学	生きることについて考える 職業と好きなこと	2
	哲学	人とのかかわりについて考える	1
6	表現	相手・場面とことば 電話のかけ方 手紙の書き方	1
	表現	相手に対するマナーについて	2
7	表現	演劇で育むコミュニケーションの力	2
9	日本文化	「衣」一着る 和服 浴衣 着物	3
	哲学	自然とともに生きることを考える 環境先進国 江戸	1
10	表現	手紙を書く	1
	哲学	ことばと文化	1
11	日本文化	演劇で育むコミュニケーションの力	3
	表現	コマージュの秘密 メディアリテラシー	3
1	日本文化	「楽」一楽しむ 川柳 落語	2
2	日本文化	食育 生産者の話を聞く 無茶々園の方による講習	1
3	表現	「日本語」の学習のまとめ	3

計 28 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和6年度 教科「日本語」年間指導計画 3 学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えた
り話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習
を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べた
ことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分
自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中
からいくつもの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このこと
がこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

月	領域	単元	時 数
4	哲学	人とかかわりについて考える	1
	哲学	「論理の力」を考える	1
5	日本文化	「住」―住む すまいと日本の文化・自然 建築様式 内と外の境界 格子 木の命	3
	表現	新聞の活用 メディアリテラシー3 投書を書こう	1
6	哲学	生きることについて考える	1
7	日本文化	「技」―作る 箸を作る	1
	表現	自分についてよく伝えよう 面接編	3
10	表現	講師によるマナー講習	3
11	表現	小論文を書こう・集団討論をしよう	5
12	日本文化	食事を豊かにする 食のしつらい	2
1	哲学	生きることについて考える 人生に答えを出した男の物語	1
	日本文化	未来に伝えていきたい日本の「食」 箸を使う	1
2	日本文化	外国人の見た日本 シュリーマンの見た日本	1
3	哲学	社会の一員としての自分の役割を考える 社会の一員としてでできること	2

計 26 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和6年度 人権教育 全体計画

世田谷区立喜多見中学校

<関係法令等>

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
- ・東京都教育委員会教育目標
- ・世田谷区教育委員会教育目標
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

<学校の教育目標>

- 深く学ぶ（生徒を育てる）
- 勇気と思いやりをもつ（生徒を育てる）
- 健康で明るい（生徒を育てる）

<生徒の実態>

素朴で明るく、まじめな気質の生徒が多い。一方で、自己肯定感・自己有用感が低く、自主性や自己決定力に欠ける生徒が多い。

<地域・保護者の願い>

活発な学校生活を送り、社会に出てからもがんばれる力を身に付けさせたい。

<人権教育の目標>

世田谷区教育委員会教育方針を受け、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間をとおして、人権尊重の精神を基調とした教育および、自他を敬愛し、理想と志をもち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることのできる自立した個人を育成する教育を推進する。

<人権教育の課題>

- ・生徒に基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、生徒の発達段階を考慮した指導により、生徒の意欲と態度を育成する。
- ・豊かな自然や地域を生かした指導により、情操豊かな生徒を育成する。
- ・障害者、性自認、異性愛者以外の性的指向を有する者、子ども、外国人への偏見やインターネット等による人権侵害をなくし、全ての人々の人権が尊重される社会づくりにつながるよう人権意識を高める。

<目指す生徒像>

- ・心身ともに健康で、自分の良さを発揮し、社会に貢献する生徒
- ・自他を慈しみ、生命を大切にすると、人とのかかわりを通して豊かな心をもつ生徒

<全教育活動における指導のねらい>

人権の意義や重要性についての正しい知識を十分に身に付けるとともに、日常の生活の中で人権上問題のあるような出来事に関与した際に、直感的にその出来事はおかしいと思う感性や、日常生活において人権の配慮がその態度や行動に表れるような人権感覚を十分に身に付けることができるようにする。

<教科等でのねらい>

国語	適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めると共に、思考力を養う
社会	民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う
数学	数理的に筋道を立てて、論理的に考察する能力を育てる
理科	科学的に調べる能力と態度、生命を尊重する態度を育てると共に、科学的な見方や考え方を養う
音楽	豊かな情操を養う
美術	豊かな情操を養う
保健体育	能力や、身体の違いによる差別をなくし、協力・公正などの態度を養う
技術・家庭	生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる
外国語	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と実践的コミュニケーション能力の基礎を養う
日本語	人とのかかわりや礼儀の心を『考える』ということをおとして学ぶ
道徳	思いやりの心を持ち、自他の権利を重んじ義務を果たす心情や態度を育てる
特別活動	集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる
総合的な学習の時間	自己の生き方について考えることができるようにする

<教職員の研修>

- ・都教委や区教委主催の研修会への参加
- ・研修会の活性化

<学年・学級経営>

- ・一人一人を大切にし、良さを伸ばす。
- ・生徒同士、生徒と教職員が相互に信頼する温かい学校づくり

<保護者・地域との連携>

- ・道徳授業地区公開講座の実施
- ・学校協議会を活用して、地域に協力を求める。

令和6年度人権教育にかかわる年間指導計画

[第1学年]

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

<考え方>

各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>

- ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
- ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
- ・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
- ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
- ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。	学習習慣および生活習慣を身につける。「運動会」や「移動教室」など、様々な活動を通して、望ましい人間関係を構築しようとする生徒を育成する。思いやりや相手を尊重する態度を養う。				1学期を土台とし、「合唱コンクール」を通して、生徒同士が互いに認め合える集団、ルールとマナーなどを大切にする集団の育成を目指す。集団の一員として責任感を持ち、協力する態度を養う。生徒の自主的な活動を支援する。				より深く考える態度と、向上する心の育成を図る。身近な人の生き方や価値観に触れ、自分を見つめ直し、自ら進路を切り拓く意欲を育成する。		
各教科						社会科：「アメリカ州」 【外国人】 【人種差別】		社会科：「南アメリカ州」 【外国人】 【人種差別】				
						保健体育科：「心身の発達と心の健康」 【人権全般】【女性】【子供】【性自認】【性的志向】						
特別の教科道徳	・よりよい学校生活、集団生活の充実	・思いやり、感謝 ・友情、信頼	・【公正、公平、社会正義】	・向上心、個性の伸長 ・【生命の尊さ】 ・遵法精神、公德心 ・社会参画、公共の精神		・国際理解、国際貢献 ・節度、節制	・勤労 ・自主、自律、自由と責任	・礼儀 ・【相互理解、寛容】	・自然愛護 ・感動、畏敬の念 ・家族愛、家庭生活の充実 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土愛	・伝統と文化の尊重、国を愛する態度	・よりよく生きる喜び	・希望と勇氣、克己と強い意志 ・真理の探究、創造
人格の完成をめざして	・挨拶	・思いやり	・責任	・良心	・健康な体	・勇気	・公共心	・フェア	・奉仕の心	・感謝	・やりぬく心	学校を愛する心
教科日本語	(表現)率直な自己表現、対話の基礎(哲学)視野を広げて考える、人との関わりを考える、メディアリテラシー(日本文化)食・食べる①					(表現)ビブリオバトル				(表現)相手・場面ことば(哲学)生きることについて考える、自然とともに生きることを考える(日本文化)和歌、食・食べる②		
総合的な学習の時間	・総合的な学習の時間のガイダンス ・ソーシャルトレーニングへの取組 ・移動教室への取組					・食育指導：農作業体験への取組				・百人一首への取組 ・進路学習への取組 ・「社会人の話を聞く会」への取組		
特別活動	・1学期の目標作り ・組織作り ・自己を知る ・授業規律の確立	・生徒総会への取組 ・中間考査への取組 ・移動教室、運動会への取組	・移動教室、運動会の反省 ・進路学習 ・期末考査の準備と反省	・1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方		・夏休みの反省 ・2学期の目標作り ・中間考査の準備と反省	・後期組織作り ・合唱コンクールへの取組	・期末考査の準備と反省 ・三者面談	・三者面談 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・冬休みの反省 ・3学期の目標作り ・百人一首への取組 ・学習成果展覧会への取組	・学年末考査の準備と反省 ・学習成果展覧会の振り返り	・卒業式への取組 ・1年間の振り返り
主な行事	・入学式 ・新入生歓迎会 ・身体計測 ・保護者会 ・生徒総会 ・三者面談	・中間考査 ・移動教室	・道徳授業地区公開講座 ・学校公開期間 ・期末考査	・保護者会 ・終業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・新入生部活動体験 ・中間考査	・進路説明会 ・合唱コンクール	・新入生体験入学 ・期末考査	・セーフティ教室 ・三者面談 ・終業式	・始業式 ・百人一首大会 ・学校公開期間	・学校公開期間 ・学習成果展覧会 ・学年末考査	・社会人の話を聞く会 ・保護者会 ・卒業式 ・修了式

令和6年度 人権教育にかかわる年間指導計画

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

〔第2学年〕

<考え方>

各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>

- ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
- ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
- ・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
- ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
- ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。生徒理解を深め、新学級での生活適応を図り、望ましい人間関係を築く。生活面・学習面での礎をつくる。日常の生活からTPOや言葉遣い等を意識しながら、「運動会」への取組を通して自ら判断して行動し、望ましい人間関係を構築しようとする態度を育成する。					1年生での身近な人たちの職業調べを基盤にして、2年生では「職場体験」を行い、自分の将来について考えさせ、働くことの意義や職業についての理解を深めさせる。また、「合唱コンクール」を通して生徒同士がお互いに認め合える集団を育成する。					「校外学習」への取組を通して、事前・事後学習や、集団行動でのルールへの取り組みなどで、生徒が主体的に自分の課題を選択・解決・発表する能力を育てる。	
各教科						社会科：「江戸幕府の成立と鎖国」 【同和問題】 【人権全般】				社会科：「北海道地方」 【アイヌの人々】 【人権全般】	社会科：「開国と近代日本の歩み」 【人権全般】	
特別の教科道徳	よりよい学校生活、集団生活の充実／自主自立と責任	相互理解、寛容／友情、信頼／社会参画、公共の精神	公正、公平、社会正義／生命の尊さ／自主自立と責任	よりよく生きる喜び／家族愛、家庭生活の充実		節度、節制／礼儀／勤労	思いやり、感謝／伝統と文化の尊重／真理の探究、創造／遵法精神、公德心	遵法精神、公德心／相互理解、寛容／国際理解、国際貢献／自然愛護	感動、畏敬の念／生命の尊さ／向上心、個性の伸長	よりよく生きる喜び／希望と勇氣、克己と強い意志	向上心、個人の伸長／思いやり感謝／公正、公平、社会正義	生命の尊さ
人格の完成をめざして	挨拶	思いやり	責任	良心		勇気／健康な体	公共心	フェア	奉仕の心	感謝	やりぬく心	学校を愛する心
教科 日本語	[哲学]もう一度「考える」ことを考える／自然と共に生きることを考える／生きることについて考える [表現]相手・場面とことば／演劇で育むコミュニケーションの力					[哲学]自然とともに生きることを考える／ことばと文化 [表現]相手・場面とことば／コマーシャルの秘密 [日本文化]「衣」－着る					[表現]「日本語」の学習のまとめ [日本文化]「楽」－楽しむ 「食育」生産者の話を聴く	
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間のガイダンス／進路学習についての導入／職場体験に向けての取組／上級学校調べや上級学校訪問に向けての取組					職場体験／色々な社会に触れよう					校外学習に向けての取組／校外学習／総合学習のまとめ	
特別活動	・学級目標設定 ・前期組織作り ・自己を知る ・授業規律の確立	・生徒総会への取組 ・中間考査の準備と反省 ・運動会への取組	・進路学習 ・期末考査の準備と反省	・1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方		・夏休みの反省 ・学期目標設定 ・職場体験 ・中間考査の準備と反省	・後期組織作り ・生徒総会への取組 ・合唱コンクールへの取組	・期末考査の準備と反省	・三者面談の実施 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・冬休みの反省 ・学期目標設定 ・学習成果展覧会への取組 ・校外学習への取組	・校外学習への取組 ・学年末考査の準備と反省	・卒業式への取組 ・校外学習
主な行事	・始業式 ・身体計測 ・新入生歓迎会 ・生徒総会 ・三者面談	・中間考査 ・学校公開週間 ・保護者会 ・運動会	・道徳地区公開講座 ・期末考査	・期末考査 ・終業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・中間考査	・進路説明会 ・合唱コンクール	・新入生部活動体験 ・学校公開週間 ・期末考査	・三者面談 ・終業式	・始業式 ・百人一首大会 ・学校公開期間 ・学習成果展覧会	・学校公開期間 ・学年末考査	・校外学習 ・卒業式 ・修了式

人権教育にかかわる年間指導計画

〔第3学年〕

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

<考え方>

各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>

- ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
- ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
- ・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
- ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
- ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。	生徒理解を深め、新学級での生活適応を図り、行事への取り組みを通して望ましい人間関係を築く。ガイダンス機能の充実を図る。				学級生活の向上を図るとともに、自己の良さを発揮し、個性を伸ばす適切な進路選択が主体的にできるよう、支援する。進路選択のための学習を行うとともに、進路にかかわる相談機能の充実を図る。進路選択にかかわって家庭・保護者との連携を図る。					3年間の中学校生活を振り返り、感謝の気持ちをもたせるとともに、これからの自己の生き方を考えさせる。	
各教科		社会科：「個人の尊重と日本国憲法」 【人権全般】【女性】【子供】【高齢者】【外国人】 【同和問題】【障害者】【性自認】 家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】【子供】【高齢者】【同和問題】 【外国人】【障害者】【性自認】				家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】【子供】【高齢者】【同和問題】 【外国人】【障害者】【性自認】					保健体育科：「健康な生活と病気の予防」 【HIV感染者等】 家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】【子供】【高齢者】【同和問題】 【外国人】【障害者】【性自認】	
特別の教科道徳	・自分の考えを広げる ・礼儀正しい行動 ・他者と向き合う	・人間関係の構築 ・誠実な責任ある行動を目指す ・公平公正に接する	・他者への思いやり ・自他の生命を尊重 ・時を超えてつながる思いを考える	・心理を追求する ・友情を育む		・生命を大切にする ・自他の違いを生かす ・よりよい社会をつくる	・差別や偏見のない社会へ ・自分の行動の誠実さ ・目標を持ち続けて学ぶ	・よりよく生きる ・伝統や文化を尊重する ・家族とはどんなものか考える	・自然を大切にする ・理想に近づこうとする意志	・良い生活習慣を実践する ・ひとの心のありようへの理解を深める	・自分を輝かせる ・自分の尊さについて考える	・自己の成長や考えの深まりを見つめる ・乳幼児とのふれあい
人格の完成をめざして	・挨拶	・思いやり	・責任	・良心		・勇気 ・健康な体	・公共心	・フェア	・奉仕の心	・感謝	・やりぬく心	学校を愛する心
教科 日本語	「日本文化」 ・「住」住む ・「楽」楽しむ ・「技」つくる					「日本文化」 ・「食」食べる				「日本文化」 ・「衣」着る		
総合的な学習の時間	・総合的な学習の時間のガイダンス ・修学旅行への取組 ・食育指導：日本の食文化「京都の食にふれる」					・自己理解・キャリア学習 ・自己表現への取組 ・進路指導 ・食育指導				・自己理解・自己表現活動 ・進路指導 ・「社会人の話を聞く会」への取組 ・救急救命講習		
特別活動	・1学期の目標づくり ・組織づくり ・自己を知る ・授業規律の確立	・修学旅行への取り組み ・中間考査への取組 ・運動会への取組と振り返り	・進路学習 ・期末考査の準備と振り返り	・1学期のまとめと振り返り ・夏休みの過ごし方		・2学期の目標づくり ・進路学習 ・中間考査の準備と振り返り	・組織づくり ・合唱コンクールへの取組と振り返り	・進路面談 ・期末考査の準備と振り返り	・三者面談 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・3学期の目標づくり ・進路学習	・進路案手 ・学年末考査の準備と振り返り	・卒業式への取組 ・3年間の振り返り
主な行事	・入学式 ・新入生歓迎会 ・生徒総会	・中間考査 ・運動会 ・修学旅行	・道徳地区公開講座 ・期末考査 ・進路説明会	・保護者会 ・終業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・新入生部活動体験 ・中間考査	・進路説明会 ・合唱コンクール	・新入生体験入学 ・期末考査	・三者面談 ・終業式	・始業式	・学習成果展覧会 ・学年末考査	・社会人の話を聞く会 ・保護者会 ・卒業式

情報教育・ICT活用全体計画

世田谷区立喜多見中学校

日本国憲法
教育基本法
他関係法規

学校教育目標
・より深く学ぶ（生徒を育てる）
・勇気と思いやりをもつ（生徒を育てる）
・健康で明るい（生徒を育てる）

地域の実態
生徒の実態
保護者の願い

情報活用能力
・情報活用の実践力
・情報の科学的な理解
・情報社会に参画する態度

情報教育・ICT活用の目標
・情報活用能力を身に付けさせ、社会の多くの場面で活躍できる生徒の育成を図る。
・情報を活用する能力を身に付け、国際社会で活躍できる生徒を育成する。
・情報モラル教育等を通して情報活用能力を身に付けさせる。

各学年の指導目標	
1年	- 情報機器の基本操作を身に付けさせる（タブレットの基本操作・Excelを用いた計算等） - 情報手段の特性を理解させる（調べ学習の活用） - 情報技術の社会への様々な影響を知らせる（ネットリテラシー醸成・ネット知識と安全）
2年	- 情報を主体的に収集できる能力を身に付けさせる - 必要に応じて、情報を処理、表現、創造することができ力を身に付けさせる（プレゼンテーション） - 情報モラルの必要性を理解させる（著作権・肖像権の基礎知識等）
3年	- 必要に応じて、情報を発信・伝達できる能力を身に付けさせる（情報の取捨選択等） - 自らの情報活用を評価改善できる能力を身に付けさせる（統計への活用） - 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を培う（著作権・肖像権の基礎知識および人権）

各教科における情報教育	道徳教育	総合的な学習の時間 教科「日本語」
- ICT機器やコンテンツを活用し、情報能力の育成を図る。 - タブレットカメラを用いた図示 - デジタル教科書の活用 - 各種計測、データ処理	- 情報化社会において多量の情報に流されることがなく、取捨選択し、責任をもって活用する能力、態度を養う。 - 情報モラルの育成を図る。	- インターネットによる情報活用 - 地域への情報発信と受理 - ホームページによる学校紹介

- 継続的、日常的なICT機器の利用
- 関係諸機関とネットワークを通じた情報の共有
- 教職員の情報活用能力を高める研修の充実
- 地域の情報発信

令和6年度 学校図書館教育年間計画

1 目的

- (1) 「読書センター」「学習センター」「情報センター」「情報センター」という学校図書館の3つの機能の充実を図っていく。
- (2) 「読書センター」として、本に親しむ生徒を育て、その言語に関する力と考える力を高め、心を育む。
- (3) 「学習センター」・「情報センター」として、生徒の対話的な深い学びを行う授業の実現に寄与し、社会人として必要な情報集収集力や分析力を生徒に培わせる。

2 具体的な方法と年間予定

- | | | |
|-----------|---------|---------------------------------|
| (1) 読書支援… | 【4月】 | 学校図書館活用の仕方についてオリエンテーション |
| | 【6～7月】 | 読書イベント(1) |
| | 【7月】 | 新着本紹介(前期)、図書委員による「オススメ本紹介」 |
| | | 喜多見小学校 新BOPへの読み聞かせ活動(前期) |
| | 【11月】 | 読書イベント(2) |
| | 【12～1月】 | 図書委員による「オススメ本紹介」、百人一首・和歌コーナーの設置 |
| | 【2月】 | 新着本紹介(後期) |
| | 【3月】 | 喜多見小学校 新BOPへの読み聞かせ活動(後期) |

※月ごとに。「〇月生まれの作家」コーナーの設置、図書だよりの発行

※通年で。朝読書の推進。

- | | | |
|-----------|----------|---------------------------|
| (2) 学習支援… | 【4月】 | 先生方むけ図書館利用ガイダンス |
| | 【6～7月】 | 選書に関する先生方へのアンケート(前期) |
| | 【5～9月】 | 修学旅行関連・職場体験関連図書の手配やコーナー設置 |
| | 【10～11月】 | 選書に関する先生方へのアンケート(後期) |
| | 【12～2月】 | 校外学習関連図書の手配やコーナー設置 |

※随時、各学年での総合的学習の時間や教科「日本語」の授業における調べ学習に対応し、公共図書館より借り出しを行う。

世田谷区立喜多見中学校 令和6年度 第1学年 学年経営計画

学校スローガン

「理想への挑戦」～ 今、そして未来へ ～

ミッション：自分の良さを知る

学 年 目 標

『虹色学年』～自分の色(個性)を発揮し、他者の色(個性)を尊重するチーム～(3年間通した目標)

第1学年「見る1年生」：先輩方や先生方、周りの友人をよく見て、

「真似る」から「学ぶ」学年

※目標達成のための重点ポイント

◇生徒の良さを教員が理解するために廊下など生徒のそばにつねにいる。

◇授業規律を保ち、学習の中で自分の良さや得意を生徒が見つけ、教員が評価し、褒める。

◇道徳や学活などで生徒同士が互いの良さを見つけ、評価し、時に真似ること、互いに高めあう。

◇常日頃から他者を尊重する気持ちを伝え、未然防止的な生活指導を行う。

目標値 (学校関係者評価 肯定率)

◎自分には良いところがある

75%

◎先生は相談しやすい

80%

◎学校生活は楽しい

80%

◎その他

※具体的な目標と取り組み内容

項 目	目 標	目標達成のための具体的取り組み
学習指導	- 基礎学力の充実 - 授業規律の確立 - 主体的に学習に取り組む態度の「B」以上を増やす。	- 不要な私語をさせず、授業規律の確立を大切にする。他の人の学習権を侵害しない。 - 授業への良い気付きや発言は逃さず拾い、共有し、発言者の自己肯定感を高める。 - 授業の妨害がある場合には、毅然とした態度で対応し、学年全体で指導する。 - 日々の家庭学習の重要性を理解させ、計画的に学習が行えるように指導する。 - 提出物の期日厳守を徹底する。
	- 信頼し合える人間関係の確立 - いじめを絶対に許さない環境をつくる。	- 生徒一人ひとりの良さを見つけ、認め、褒め、意欲と自信をもたせる。 - 友人関係に目を配り、子供同士の繋がりに気をつける。 - 生徒への意見から多様な価値観を引き出し、「いろいろな人がいる」ということを学ばせる。 - 教科書的な道徳の授業にとられず、教材を柔軟に解釈し、授業を展開する。 - 本校での人権の話の度に人権について道徳で話をし、「いいじめ」であることを指導していく。また、月に一度を目安に人権に関する教材を用いて継続的な人権指導を行う。
道徳教育		

キャリア教育	・自分の良さを知る。 ・将来に展望をもち、逆算的に自分の進路を考える。	・キャリアサポートなどの振り返り活動を通して、自分と向き合い、自分を深める時間を増やす。 ・社会人の話を聴く会、職業調べ、「オリジナル職業づくり」などの活動を通して、将来への具体的な展望をもたせる。
生活指導	・規範意識の向上 ・基礎的な生活習慣の確立	・学校のきまりを守る意義を考えさせる。 ・固のわがままで、集団が崩れることを理解させ「きまり」の重要性を理解させる。 ・「悪いことは悪い」と正しいことと言え、それが通る集団を目指す。 ・失敗したときには素直に謝罪できる態度を育成し、失敗は許しても嘘は許さない。 ・問題行動等に対しては、全員で共通の姿勢で指導にあたる。
特別活動	・全員が役割をもつ ・生徒の個性や長所を伸長させる。	・特別活動や行事を通して、リーダーを育成し、生徒が自主的に活動する場を作る。 ・自身の得意な分野においてミニリーダーを設け、多くの生徒がリーダーを経験できるように、機会をつくる。 ・行事や学活などで役割の固定化を防ぎ、なるべく多くの生徒に体験をさせる。
保護者連携	・保護者との密な連携 ・真摯に対応しつつ、業務を圧迫するような対応を無くしていく	・学年だよりを発行し、定期的に学年の様子を保護者に伝える。 ・保護者会や教育相談等を通して、保護者との信頼関係を築くように努める。 ・保護者の要望をクレームととらえず、原因究明ができるよう傾聴する。 ・保護者の声を大切にし、質問や心配事があればすぐに連絡をもらえるようにする。 ・心配な保護者には「たまに長く」ではなく「定期的に短い」連絡を心がける。

その他

- ・朝の出席確認や休み時間、給食時間など、廊下に教員がいない時間になるべく作らない。
- ・「指導」＝「叱る、怒鳴る」ではなく、被害者も加害者もきちんと話を聞き、被害者の思いや加害者の原因究明、その際の保護者連絡、教員間の情報共有を徹底する。
- ・生徒と生徒、教員と教員、生徒と教員、生徒と保護者の風通しがよく、相談しやすい環境を目指す。

学校スローガン

「理想への挑戦」～ 今、そして未来へ ～

ミッション：自分の良さを活かす

学 年 目 標

応援される人・学年になる 第二章
～ 凡事徹底 ・ 桜梅桃李 ～

※目標達成のための重点ポイント

- ◇ 正しい生活習慣の確立
- ◇ 5つの大切（自分・相手・もの・時間・礼儀）の徹底
- ◇ 「時を守り、場を清め、礼をただす」生徒の育成
- ◇ 生徒一人一人にスポットライトを当てる

目標値（学校関係者評価 肯定率）

- ◎自分には良いところがある
(R5. 58%) → R6. 70%
- ◎先生は相談しやすい
(R5. 61. 4%) → R6. 75%
- ◎学校生活は楽しい
(R5. 73. 9%) → R6. 80%
- ◎その他

※具体的な目標と取り組み内容

項 目	目 標	目標達成のための具体的取り組み
学習指導	○ 学習規律の徹底	● チャイム着席を徹底する
	○ 学習習慣の定着	● 忘れ物を0（ゼロ）にする
	○ 学習意欲の向上	● あいさつをしっかりする ● 聴く態度（耳・目・心で聴く） ● 積極的に話し合い、積極的に発言する ● 朝読書・朝学習にしっかり取り組み ● 家庭学習の習慣を身につけさせる（予習・復習の意識付け）
道徳教育	○ 思いやりや、相手を尊重する態度の育成	● 学校生活のあらゆる場面で、自分のよさ・互いのよさを見つけ、認め合い、尊重しあい、高めあえる心と態度を育てる
	○ より深く考え、向上しようとする心の育成	● 「人として望ましい態度とは何か」を深く考え、行動する態度を育てる
	○ 安心・安全な生活環境を整える	● 国際的視野に立ち、文化や生活習慣の違いを認め合い、人間として尊重しあう態度を育て、その中で我が国の素晴らしさに気付かせる

キャリア教育	○ 自己理解を深める ○ 将来を見据えた自己実現への取り組み ○ 積極的な情報収集	● 自分の現状に対する理解を深め、さらに向上するための課題を自覚する ● 職場体験を通して、社会への視野を広げるとともに社会性を身に付ける ● 将来に向けて必要な情報の収集を積極的に行う ● キャリアパスポートの実施・活用
生活指導	○ 正しい生活習慣の実践 ○ より良い集団にするための意識を高める	● 食事・睡眠・運動の重要性を理解させ、正しい生活習慣を確立させる ● 5つの大切（自分・相手・もの・時間・礼儀）の徹底 ● 授業や日常生活の様々な場面で、個性やよい面を互いに認め合い、自分に自信をもつて力を発揮できる集団になる ● 1年次に経験を活かし、さらによりものにするために考えを出し合う
特別活動	○ 学年・学校行事への積極的な取り組み ○ 協力的・自主的・自立的活動	● 2学年という立場で積極的に取り組む自覚を高め、学年全体としてさらに向上していくこうとする意識を高める ● 行事等で自分の個性を生かし、また新たに挑戦することで自己肯定感・自己有用感を高める ● 集団で作り上げる喜びや充実感を高める ● 学校のリーダーとなる生徒を育成する
保護者連携	○ 子どもたちの成長をタイムリーに伝える ○ 保護者との密な連携 ○ 互いに協力し、子どもたちを良い方向に導いていく関係づくり	● 学年だよりの定期的な発行 ● 保護者会や教育相談等を通して、保護者との信頼関係を築く ● 困ったこと、心配なことをすぐに連絡してもらえ、また、学校の活動に支援・協力してもらえらる関係をつくる ● 心配な保護者には定期的な連絡を心がける

その他

- 子どもたちが「自分で考え、自分で選択し、行動をする」環境を整え、また「その結果に責任を持たせる」指導をする。

学校スローガン

「理想への挑戦」～ 今、そして未来へ ～

ミッション：自分の良さを高め、深める

学 年 目 標

挑戦・やりきる
～高め合い支え合う仲間とともに～

※目標達成のための重点ポイント

- ◇自分の現状の課題を自覚し、その克服に向けてすべきことを示し、実行を支える。
- ◇生徒同士が互いの意欲を認め励まし、その努力を見習う空気を醸成する。
- ◇中学卒業後を見据えた行動規範や人権尊重の意識を高める。
- ◇日常生活の中で様子を見てこまめに声をかけ、個別の二者面談の機会を多く持つ。

※具体的な目標と取り組み内容

目標値（学校関係者評価 肯定率）	
◎自分には良いところがある	80% (R5.68.3%)
◎先生は相談しやすい	80% (R5.57%)
◎学校生活は楽しい	90% (R5.86.9%)
◎その他	
希望の進路の実現	100%

項 目	目 標	目標達成のための具体的取組み
学習指導	○自ら学ぶ意欲を高める ○自らの課題克服、目標達成に向けた自主的・主体的な学習への取り組み ○集団としての学習環境の向上	○家庭学習の習慣化、前時の学習内容を確認したうえで授業に臨む姿勢の実践。 ○提出物の期限厳守。 ○苦手科目、学習内容に対して、意識的重点的に取り組む。 ○授業規律の徹底（チャイム着席・不要な私語の排除） ○互いの疑問や気づき、発言を尊重し学びを深めるとともに、 unnecessary 発言に流されない。 ○授業の妨げになる行為については毅然とした対応をとる。
	○相手を尊重し、互いの個性を認め合う関係の確立。 ○広い視野をもって社会全体を見つめ、自己の生き方について考えを深める。	○教科に限らずすべての場面を活用して、道徳的な思考・判断・実践力を高める。担任としては、朝学活終学活等の場面、教科担当は授業の場面を活用する。 ○教科書教材に限定することなく、適切な材料を通して、自分の考えを深め、また他者の考えに触れる。

キャリア教育	○自己理解を深め、適切な進路を実現する力を育てる。 ○自主的・主体的な進路情報の収集 ○自らの選択を実現させるための努力・粘り強さの育成。	○自分の良さ、適性について考える時間を通して、自己理解・他者理解を深める。 ○上級学校の見学会・説明会等の情報を適宜提供するとともに、積極的な情報収集をさせる。 ○目標の達成に向けて、短期・長期的な計画性をもって粘り強く取り組めるよう働きかける。 ○NIE学習として、定期的に新聞を活用して視野を広げ社会への関心を高める。	○社会生活に適した言葉遣い、時間厳守、挨拶、服装などの実行。 ○人を傷つける行為に対して許さないという毅然とした対応。 ○個々の適性に応じた役割を担うやりがい・充実感を持つ。また、他者の適性を活かして集団としてより良いものをつくる意識を持たせる。
生活指導	○規範意識の向上。 ○互いを尊重する態度		○これまでの経験を活かし、最高学年として積極的に企画し運営に携わる姿を後輩に示す。 ○学年集会等で、自分たちで企画し、お互いの個性を生かして学年全員で楽しむ機会を創る。
特別活動	○学年・学校行事への自覚を持った取り組み ○生徒会活動への積極的参加。 ○集団でものごとを創り出すことを楽しみ、その一員としての役割を果たす。		
保護者連携	○生徒のより良い成長を願うパートナーとして、保護者からの信頼・協力を得る。 ○学校における教育活動のねらいのより一層の理解の獲得。	○学年だよりの定期的な発行を通して、学校からの情報発信を行う。 ○「何かあったときの連絡」だけでなく、日ごろからの「こまめな連絡」を意識する。 ○特に進路関係での保護者の不安に対して真摯・誠実・迅速な対応を行う。	

その他

○義務教育の最終年度として、自分の希望の進路を実現させて堂々と胸を張って卒業できるように、短期的・長期的な計画のもと、スモールステップで少しずつ手ごたえをもった取り組みを継続していく。

○正解を選ぶのではなく、選んだものを正解にするという強い意志で、最後までやり切る。

世田谷区立喜多見中学校 令和6年度 E組 学年経営計画

学校スローガン

「理想への挑戦」～ 今、そして未来へ ～

ミッション：自分の良さを活かす

学 年 目 標

「発想と挑戦」

生活：ルールを守って仲良く楽しく

運動：体を動かし健康第一

勉強：できるところから取り組む

※目標達成のための重点ポイント

◇ 自分の特性を理解し、他者と協力する生徒の育成

◇ 情緒を安定させ、社会生活への適応を目指す

◇ 基礎学力・運動能力・コミュニケーション能力の向上

目標値（学校関係者評価 肯定率）

◎その他

※具体的な目標と取り組み内容

項 目	目 標	目標達成のための具体的取組み
学習指導	○ 学習規律の確立	● チャイム着席の徹底
	○ 個別最適化した学習	● 見通しを持たせる
	○ 自由進度学習	● 聴覚優位、視覚優位生徒への配慮 ● 個人の学習スタイルの確立
道徳教育	○ 自分自身の特性を理解する	● 自分のよさ・互いのよさを見つけ、認め合える心と態度を育てる
	○ 他者を認め尊重し、協力する姿勢を付ける	● するべきことを自ら考え、行動する習慣を付ける
	○ 互いの個性を認め合う関係の確立	● 生徒の良い行動を見つけ、褒め、意欲と自信をもたせる

キャリア教育	○ 自己理解を深める ○ 将来を見据えた自己実現への取り組み ○ 積極的な情報収集	● 各学年において社会への視野を広げるとともに社会性を身に付ける。 ● 自分の現状に対する理解を深め、さらに向上するための課題を自覚する ● キャリアパスポートの実施・活用
生活指導	○ 正しい生活習慣の実践 ○ 自分の特性との付き合い方 ○ 感情のコントロール方法を学ぶ	● 食事・睡眠・運動の重要性を理解させ、正しい生活習慣を確立させる ● 授業や日常生活の様々な場面で、個性やよい面を互いに認め合い、自分に自信をもつて力を発揮できる集団になる ● 自立活動では、SST（ソーシャルスキルトレーニング）などの教材を使って場面ごとにどんな行動をとった方がよいのか学んでいく
特別活動	○ 行事での交流活動 ○ 協力的・自主的活動 ○ 生徒の個性や長所を伸ばす	● 個人だけでなく E 組という学年を超えた集団で作りの上げる喜びや充実感を高める ● 交流を通して同学年の横の繋がりを知る ● 行事や学活などで、なるべく多くの生徒に体験をさせる
保護者連携	○ 保護者とのこまめな連携 ○ 互いに協力し、子どもたちを良い方向に導いていく関係づくり ○ SC や生育・主治医など医療機関（学校内外）との連携	● E 組よりの定期的な発行 ● 日々の連絡や連絡帳を通して、保護者との信頼関係を築く ● 困ったこと、心配なことをすぐに連絡してもらえ、また、学校の活動に支援・協力してもらええる関係をつくる

その他

- 子どもたちが取り組みやすいような枠や選択肢を設定する。その中で自ら選択・創意工夫し精一杯取り組みめるような環境調整も随時行っていく。
- また、提示した枠や選択肢からはみ出ることがあっても話し合った上出来ることから取り組み組んでいく生徒を育成する。